

年度	2026年度						
授業科目名	情報リテラシー演習・DS概論【(観光)1】	授業形態	演習	授業形式		授業コード	3122012714
ナンバリング	人文社会学部 観光経営学科(D6112)						
担当教員	黒澤 俊平						
配当学年	1年：人文社会学部 観光経営学科(26,25,24,23)					学期	2026年度前期、 2026年度後期
単位数	2単位：人文社会学部 観光経営学科(26,25,24,23)						
必修カリキュラム	人文社会学部 観光経営学科(26,25,24,23)						
カリキュラム	人文社会学部 観光経営学科(26,25,24,23)						
資格認定・一部試験免除との関連							

授業のねらい及び到達目標	【授業のねらい】 現代の情報化社会に生きる我々にとってコンピュータや通信機器は必須の道具となっており、これらを使いこなす能力は我々現代人に求められる基本的なスキルといえる。これらは単に個人が文書作成や数値計算をするための道具ではなく、ネットワークを介して人間同士がコミュニケーションを行うための重要な道具ともなっている。また、様々な分野において、人々の行動データ等の膨大なデータや人工知能（Artificial Intelligence: AI）を活用したりすることが増えてきた。このような状況をふまえ、本授業では文書作成ソフトウェアWord（以下「Word」と記す）、表計算ソフトウェアExcel（以下「Excel」と記す）、プレゼンテーション資料作成ツールPowerPoint（以下「PowerPoint」と記す）の操作方法や基本的な機能を学ぶと同時に、学内LANやインターネットを利用する過程で、そのネットワーク環境を効果的、安全、適正に使用するための知識や技術を習得する。また、データサイエンスやAIに関するリテラシーレベルの知識を習得し、これらの適切な使い方を修得する。さらに、将来取り組む課題の解決に必要なとなる情報の探索・収集、分析・整理、アウトプット（レポート、プレゼンテーション等）といった一連の情報利活用能力を身につけることを目的とする。 【到達目標】 [教科書1]のWindows 11・Word・Excel・PowerPointの各Sectionにある「練習」レベルの問題ができること。 [教科書1]のSection5「セキュリティと情報モラル」の内容を理解し、適切に行動できること。 [教科書2]の第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」・第3章「心得データ・AI活用における留意事項」の内容を理解し、データサイエンス・AIの現代社会における役割や留意事項を説明できること。 [教科書2]の第2章「基礎 データリテラシー」の内容を理解し、データを取り扱い、読み、説明することができること。
学修内容・方法	本授業では、情報リテラシーに関する内容と、数理・データサイエンス・AIに関する内容（以下「数理・DS・AI」）について、以下の通り学修する。 [情報リテラシー] オペレーティングシステムの基本操作、タイピングや日本語入力方法のマスターを前提として、Microsoft365（もしくはOffice2019またはOffice2021）に含まれるWord、Excel、PowerPoint等の操作方法や基本的な機能について学ぶ。 [情報リテラシー] 教室その他における学内LANの利用方法や、WWW、E-Mail等を用いたインターネット上での情報交換・情報発信・情報収集の方法について学ぶ。 [情報リテラシー] 情報セキュリティ（ウィルス対策、パスワード管理、暗号化、SSL等）、知的所有権（特にインターネット上で入手・参照できるWebサイトやオンラインジャーナル等の電子情報を扱う場合の著作権法上の留意点）、個人情報の保護、ネチケット、SNS等の安全かつ適切な利用方法等について学び、コンピュータリテラシー・情報リテラシーを総合的に向上させていく。 [数理・DS・AI] 情報通信技術による社会の変化（ビッグデータ、第4次産業革命、データ駆動型社会等）、活用されているデータの例（人や車の移動データ、監視カメラ等）、DS・AIの技術（機械学習等）や得手不得手、データ・AI活用の倫理・法的問題（GDPR、ELSI等）といった数理・DS・AIのリテラシーレベルの知識を学ぶ。 [数理・DS・AI] 時系列データ、平均・標準偏差・中央値等の基本統計量、相関、定量データ・定性データ等、Excelを用いてデータを扱う基本的な方法を、実データを用いて学ぶ。 [数理・DS・AI] データサイエンス実習では、課題の設定・データ収集・データの分析・プレゼンテーション資料作成という、所謂データサイエンスサイクルの一連の流れを体験する。 ※ データ・AIの利活用を学修する際は、クラスの実情に応じ、適宜グループワークやグループディスカッションを行いながら、演習を進める。 ※ 本授業の数理・DS・AIに関する内容は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）モデルカリキュラムに準拠している。
アクティブ・ラーニングの取り組み方法	発見学習／PBL(課題解決型学習)／体験学習／調査学習／グループディスカッション、ディベート
授業内容のレベル、関連科目	【授業内容のレベル】 高等学校において教科「情報」を履修していることを前提としているが、習熟度については個人差もあると考えられる。よって、入門的・基礎的な内容から始め、次第に高度な内容へと、十分に時間をかけ段階を追って授業を進めていく。 【関連科目】 学科によっては、本演習を履修した諸君を対象とする選択科目（学科によっては必修科目）の「コンピュータ実践演習Ⅰ・Ⅱ」あるいは「コンピュータ演習Ⅱ」がある。
授業外学修（予習・復習）	事前学習・事後学習については、「授業の形式・計画」の項において、個別に記載のない場合は以下のとおりである。 ・事前学習：テキストの学習予定範囲を熟読しておくこと。 ・事後学習：授業の振り返りを行い、時間内に終わらなかった課題を次の授業までにmanabaに提出すること。
授業外学修に必要な時間	◇人文社会学部 観光経営学科 開講期間内において、約30時間の授業外学修が必要になる。
使用テキスト	[教科書1] 情報リテラシーの内容に関するテキスト 『イチからしっかり学ぶ！Office基礎と情報モラルOffice365・Office2021対応』 noa出版、2022年3月 ISBN：978-4-908434-79-2 [教科書2] 数理・データサイエンス・AIの内容に関するテキスト 『[改訂新版] AIデータサイエンスリテラシー入門』

	吉岡・森倉・小林・照屋，技術評論社，2024年9月 ISBN：978-4-297-14409-8
参考書、その他 教材	第27回から第30回で行うデータサイエンス実習は、オンライン教材を使用する。 その他、必要に応じてOffice基礎、情報モラル、数理・データサイエンス・AIに関連する教材等を配布・使用する。
成績評価方法・ 基準	以下を総合して評価する。 ・授業内に出された課題の提出状況およびその内容60％（2％×30） ・教室で確認できる習熟度20％（タイピングスキル、受講態度等） ・授業内試験として実施する以下の5回の理解度確認テスト20％（4％×5） [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを高めましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-1 ～ 1-3 [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-4 ～ 1-6 [教科書2] 第3章「心得 データ・AI活用における留意事項」
課題や試験のフ ィードバック方 法	
授業の形式・計 画	◆前期 【第1回】 [PCの確認と設定] PCを確認し、必要に応じインストールや設定を行う。各自のPCを学内LANに接続し、ウィルス駆除ソフトやMicrosoft Officeのインストールや設定を行う。 ・事前学習：シラバスと新入生ガイダンス時に配付された「情報リテラシー演習・D S 概論／初回授業について」を熟読し、忘れ物がないよう準備しておくこと。初回授業の前日までに本科目の履修登録を完了しておくこと。 ・事後学習：時間内に終わらなかった設定やインストールがあれば、次の授業までに完了しておくこと。 【第2回】 [授業の内容や進め方のガイダンス] 授業の目的と内容、授業の進め方等をシラバスを用いて説明する。学修支援システムmanabaの利用方法や、学内メールの利用方法、教員との連絡手段についても説明する。 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson1 コンピューターウィルスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-1-1 IoTとビッグデータ ・事前学習：前回の授業で実施したPCやパスワード等の設定内容を忘れないように確認しておくこと。 ・事後学習：時間内に終わらなかった設定や課題を次の授業までに完了しておくこと。 【第3回】 [教科書1] Section1「Windows 11」STEP1 Windows11 Lesson1 パソコンを起動しましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson1 コンピューターウィルスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-1-2 第4次産業革命とSociety 5.0／1-1-3 Society 5.0が目指す社会 【第4回】 [教科書1] Section1「Windows 11」STEP1 Windwos11 Lesson2 エクスプローラーを操作しましょう [教科書1] NESSを用いたタイピング練習 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson1 コンピューターウィルスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-1-4 データ駆動型社会／1-2-1 様々な種類のデータ 【第5回】 [教科書1] Section1「Windows 11」STEP2 ファイルとフォルダーを操作しましょう／演習全体を通して使用する素材データを各自のPCに展開 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson2 スパイウェアを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-2-2 1次データ・2次データ・メタデータ／1-2-3 構造化データと非構造化データ 【第6回】 [教科書1] Section2「Word」STEP1 Wordの基礎を学びましょう Lesson1 Wordを起動しましょう／Lesson2 タッチタイピングをマスターしましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson3 不正アクセスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-3-1 データ・AI 活用領域の広がり／1-3-2 様々な活用目的 【第7回】 [教科書1] Section2「Word」STEP1 Wordの基礎を学びましょう Lesson3 文章を入力しましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson3 不正アクセスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-4-1 データ解析の種類／1-4-2 構造化データの可視化 【第8回】 [教科書1] Section2「Word」STEP2 文書を作成しましょう Lesson1 チラシを作成しましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson3 不正アクセスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-4-3 非構造化データの扱い方 【第9回】 [教科書1] Section2「Word」STEP2 文書を作成しましょう Lesson1 チラシを作成しましょう：練習7 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson1 情報社会の問題点を学びましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-4-4 AI（人工知能）／1-5-1 データサイエンスサイクル 【第10回】 [教科書1] Section2「Word」STEP2 文書を作成しましょう Lesson2 レポートに必要な機能を学びましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson2 著作権について学びましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-5-2 データ・AI活用用例紹介 【第11回】 [教科書1] Section2「Word」STEP2 文書を作成しましょう Lesson2 レポートに必要な機能を学びましょう：練習8 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson2 著作権について学びましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-6-1 データ・AI を活用した最新のビジネスモデル／1-6-2 AI を活用した最新の技術や関連用語 【第12回】 [教科書1] Section4「PowerPoint」STEP1 PowerPointの基礎を学びましょう／STEP2 スライドを作成しましょう Lesson1 スライドを作成しましょう(1)～(9) [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson3 個人情報の保護について学びましょう

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI活用における留意事項」3-1-1 倫理的・法的・社会的課題／3-1-2 自身に関するデータのコントロール

【第13回】

[教科書1] Section4「PowerPoint」STEP2 スライドを作成しましょう Lesson1 スライドを作成しましょう(10)～(12)／練習22

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson4 ルールとマナーを学びましょう

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI活用における留意事項」3-1-3 データ倫理／3-1-4 人間中心のAI社会原則

【第14回】

[教科書1] Section4「PowerPoint」STEP2 スライドを作成しましょう Lesson2 効果を付けましょう／練習23

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson4 ルールとマナーを学びましょう

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI活用における留意事項」3-1-5 データ・AI 活用における負の事例／3-2-1 データを守るための原則

【第15回】

[教科書1] Section4「PowerPoint」STEP3 発表しましょう／練習24

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson5 ネットコミュニケーションを学びましょう

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI活用における留意事項」3-2-2 データを守るための方法／3-2-3 セキュリティ事故の事例

◆後期

【第16回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-1 Excelの基本的な操作方法① 2-1-1 ～ 2-1-3

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう（ドリルを用いて復習）

【第17回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-1 Excelの基本的な操作方法② 2-1-4 ～ 2-1-5

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう（ドリルを用いて復習）

【第18回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-2 時系列データの可視化

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう（理解度確認テスト）

【第19回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-3 平均の算出とその可視化

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう（ドリルを用いて復習）

【第20回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-4 標準偏差の算出とその可視化

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう（ドリルを用いて復習）

【第21回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-5 大量のデータを扱う方法① 2-5-1 ～ 2-5-4

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう（理解度確認テスト）

【第22回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-5 大量のデータを扱う方法② 2-5-5

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-1 ～ 1-3（ドリルを用いて復習）

【第23回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-6 基本統計量の算出と箱ひげ図

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-1 ～ 1-3（ドリルを用いて復習）

【第24回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-7 度数分布表とヒストグラムの作成

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-1 ～ 1-3（理解度確認テスト）

【第25回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-8 散布図の作成と相関係数の算出

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-4 ～ 1-6（ドリルを用いて復習）

【第26回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-9 定性データの扱い方とクロス集計

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-4 ～ 1-6（ドリルを用いて復習）

【第27回】

[教科書1] Section3「Excel」Excelの印刷、計算、数学関数、if関数、円・複合グラフ

[データサイエンス実習] 課題の設定・実データの収集

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-4 ～ 1-6（理解度確認テスト）

【第28回】

[データサイエンス実習] データの加工と解析・推論

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI活用における留意事項」（ドリルを用いて復習）

・事前学習：[教科書2]を参考に第27回で収集したデータの特徴を考えること。

・事後学習：時間内に終わらなかった課題を次の授業までにmanabaに提出すること。

【第29回】

[データサイエンス実習] 実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（Word）

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI活用における留意事項」（理解度確認テスト）

・事前学習：[教科書1] Section2 Step2 Lesson2を参考にレポートの書き方を復習しておくこと。

・事後学習：時間内に終わらなかった課題を次の授業までにmanabaに提出すること。

【第30回】

[データサイエンス実習] 実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（PowerPoint）

[まとめ] 授業全体の振り返りを行うとともに、授業内容についてのアンケートを実施する。

・事前学習：[教科書1] Section4を参考にPowerPointの作成方法を復習しておくこと。

・事後学習：時間内に終わらなかった課題をmanabaに提出すること。

	注1. この授業は前期から後期にかけて行う通年の授業である。 注2. 第1回から必ずノートPCを持参すること。コンピュータのハードウェア環境およびソフトウェア環境について確認する。第1回から使用テキストも可能な限り持参すること。 注3. OSはWindows 11を前提とする。古いバージョンのOSのPCを持つ人は、演習開始時に担当教員に伝えておくこと。また、Microsoft365（もしくはOffice2019またはOffice2021）と異なるバージョンの場合は、初回授業時に対応する。 注4. 上記の通り、第18・21・24・27・29回の授業において、授業内に理解度確認テストを実施する予定である。教科書を熟読し、manabaのドリルを行って対策をしておくこと。 注5. クラスの実状に応じ、進度その他に若干の変更が生じる場合がある。担当教員の説明をよく聞いておくこと。 注6. 課題や試験のフィードバック方法：試験、小テスト、課題、レポート等について、授業時間またはmanaba等を用いて講評・解説を行う。
実務経験のある 教員による授業 科目	

授業回数	情報リテラシー演習						DS概論				座学系の内容の復習と授業内試験												
	教科書 1：Office基礎と情報モラル（noa出版）						教科書 2：AI・データサイエンスリテラシー入門（技術評論社）																
	Section	内容：Office	ページ	Section	内容：セキュリティと情報モラル	ページ	Section	内容：データサイエンス	ページ														
1	ガイダンス、PC設定																						
2	manaba、学内メール等			Scetion 5 セキュリティと 情報モラル	Lesson1 コンピュータウイルス 確認ドリル1	250-255	第1章 導入 社会における データ・AI活用	1-1-1 IoTとビッグデータ	確認ドリル	8-10													
3	Section 1 Windows 11	STEP1 Lesson1 パソコンの起動	2-13		Lesson1 コンピュータウイルス 確認ドリル2			1-1-2 第4次産業革命と Society 5.0		10													
4		STEP1 Lesson2 エクスプローラー NESSの使用法、タイピング練習	14-18		Lesson1 コンピュータウイルス 確認ドリル3			1-1-3 Society 5.0が目指す社会		11-12													
5		STEP2 ファイルとフォルダー インターネット利活用、教科書データの入手	19-28		Lesson2 スパイウェア 確認ドリル4	1-1-4 データ駆動型社会		13															
6		Section 2 Word	STEP1 Lesson1 Wordの起動		30-35	STEP 1 セキュリティ		Lesson3 不正アクセス 確認ドリル5		1-2-1 様々な種類のデータ		14-15											
7	STEP1 Lesson2 タッチタイピング		36-51	Lesson3 不正アクセス 確認ドリル6	1-2-2 1次データ・2次データ・メタデータ			15-16															
8	STEP1 Lesson3 文章の入力		52-59	Lesson3 不正アクセス 確認ドリル7	1-2-3 構造化データと非構造化データ			16-17															
9	STEP2 Lesson1 チラシの作成		60-79	Lesson1 情報社会の問題点 確認ドリル 1	1-3-1 データ・AI 活用領域の広がり			18-19															
10	STEP2 Lesson1 練習7		80	Scetion 5 セキュリティと 情報モラル	Lesson2 著作権 確認ドリル 2	1-3-2 様々な活用目的		19-20															
11	STEP2 Lesson2 レポートの作成	81-97	Lesson2 著作権 確認ドリル 3		1-4-1 データ解析の種類	21-22																	
12	Section 4 PowerPoint	STEP2 Lesson2 練習8	98		Lesson3 個人情報の保護 確認ドリル 4	1-4-2 構造化データの可視化	22-23																
13		STEP1 PowerPointの基礎	178-185	STEP 2 情報モラル	Lesson4 ルールとマナー 確認ドリル 5	1-4-3 非構造化データの扱い方	23-25																
14		STEP2 Lesson1 スライドの作成(1)～(9)	186-208		Lesson4 ルールとマナー 確認ドリル 6	1-4-4 AI（人工知能）	26																
15		STEP2 Lesson2 スライドの作成(10)～(12)	209-219		Lesson5 ネットコミュニケーション 確認ドリル 7	1-5-1 データサイエンスサイクル	27																
16	STEP2 Lesson2 効果を付ける、練習23	222-234	Lesson4 ルールとマナー 確認ドリル 6		1-5-2 データ・AI活用例紹介	28-33																	
17	STEP3 発表しましょう、練習24	235-242	Lesson5 ネットコミュニケーション 確認ドリル 7	1-6-1 データ・AI を活用した最新のビジネスモデル	34-35																		
18												第3章 心得 データ・AI活用に おける留意事項	1-6-2 AI を活用した最新の技術や関連用語	35-36									
19													3-1-1 倫理的・法的・社会的課題	166									
20													3-1-2 自身に関するデータのコントロール	167-168									
21													3-1-3 データ倫理	168									
22													3-1-4 人間中心のAI社会原則	168-169									
23													3-1-5 データ・AI活用における留意事項	169									
24													3-2-1 データを守るための原則	170									
25													3-2-2 データを守るための方法	170-172									
26													3-2-3 セキュリティ事故の事例とサイバーセキュリティ	172									
27											Section 3 Excel		Excel印刷、計算、数学関数、if関数、円・複合グラフ					第2章 基礎 データリテラシー	2-1 Excelの基本的な操作方法①	38-48	(情報) Section5 STEP1 セキュリティ【復習】		
28											2-1 Excelの基本的な操作方法②	49-54	(情報) Section5 STEP1 セキュリティ【復習】										
29											2-2 時系列データの可視化	55-71	(情報) Section5 STEP1 セキュリティ【授業内試験】										
30											2-3 平均の算出とその可視化	72-83	(情報) Section5 STEP2 情報モラル【復習】										
											2-4 標準偏差の算出とその可視化	84-97	(情報) Section5 STEP2 情報モラル【復習】										
											2-5 大量のデータを扱う方法①	98-110	(情報) Section5 STEP2 情報モラル【授業内試験】										
											2-5 大量のデータを扱う方法②	110-113	(DS・AI) 第1章 1-1～1-3【復習】										
											2-6 基本統計量の算出と箱ひげ図	114-128	(DS・AI) 第1章 1-1～1-3【復習】										
											2-7 度数分布表とヒストグラムの作成	129-141	(DS・AI) 第1章 1-1～1-3【授業内試験】										
											2-8 散布図の作成と相関係数の算出	142-154	(DS・AI) 第1章 1-4～1-6【復習】										
											2-9 定性データの扱い方とクロス集計	155-164	(DS・AI) 第1章 1-4～1-6【復習】										
27	Section 3 Excel	Excel印刷、計算、数学関数、if関数、円・複合グラフ					オンライン教材	課題の設定・実データの収集		(DS・AI) 第1章 1-4～1-6【授業内試験】													
28											実データの加工と解析・推論		(DS・AI) 第3章【復習】										
29											実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（Word）		(DS・AI) 第3章【授業内試験】										
30											授業全体の振り返りとアンケート										実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（PowerPoint）		

年度	2026年度						
授業科目名	情報リテラシー演習・DS概論【(観光)2】	授業形態	演習	授業形式		授業コード	3122012728
ナンバリング	人文社会学部 観光経営学科(D6112)						
担当教員	田中 剛						
配当学年	1年：人文社会学部 観光経営学科(26,25,24,23)					学期	2026年度前期、 2026年度後期
単位数	2単位：人文社会学部 観光経営学科(26,25,24,23)						
必修カリキュラム	人文社会学部 観光経営学科(26,25,24,23)						
カリキュラム	人文社会学部 観光経営学科(26,25,24,23)						
資格認定・一部試験免除との関連							

授業のねらい及び到達目標	【授業のねらい】 現代の情報化社会に生きる我々にとってコンピュータや通信機器は必須の道具となっており、これらを使いこなす能力は我々現代人に求められる基本的なスキルといえる。これらは単に個人が文書作成や数値計算をするための道具ではなく、ネットワークを介して人間同士がコミュニケーションを行うための重要な道具ともなっている。また、様々な分野において、人々の行動データ等の膨大なデータや人工知能（Artificial Intelligence: AI）を活用したりすることが増えてきた。このような状況をふまえ、本授業では文書作成ソフトウェアWord（以下「Word」と記す）、表計算ソフトウェアExcel（以下「Excel」と記す）、プレゼンテーション資料作成ツールPowerPoint（以下「PowerPoint」と記す）の操作方法や基本的な機能を学ぶと同時に、学内LANやインターネットを利用する過程で、そのネットワーク環境を効果的、安全、適正に使用するための知識や技術を習得する。また、データサイエンスやAIに関するリテラシーレベルの知識を習得し、これらの適切な使い方を修得する。さらに、将来取り組む課題の解決に必要なとなる情報の探索・収集、分析・整理、アウトプット（レポート、プレゼンテーション等）といった一連の情報利活用能力を身につけることを目的とする。 【到達目標】 [教科書1] のWindows 11・Word・Excel・PowerPointの各Sectionにある「練習」レベルの問題ができること。 [教科書1] のSection5「セキュリティと情報モラル」の内容を理解し、適切に行動できること。 [教科書2] の第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」・第3章「心得データ・AI活用における留意事項」の内容を理解し、データサイエンス・AIの現代社会における役割や留意事項を説明できること。 [教科書2] の第2章「基礎 データリテラシー」の内容を理解し、データを取り扱い、読み、説明することができること。
学修内容・方法	本授業では、情報リテラシーに関する内容と、数理・データサイエンス・AIに関する内容（以下「数理・DS・AI」）について、以下の通り学修する。 [情報リテラシー] オペレーティングシステムの基本操作、タイピングや日本語入力方法のマスターを前提として、Microsoft365（もしくはOffice2019またはOffice2021）に含まれるWord、Excel、PowerPoint等の操作方法や基本的な機能について学ぶ。 [情報リテラシー] 教室その他における学内LANの利用方法や、WWW、E-Mail等を用いたインターネット上での情報交換・情報発信・情報収集の方法について学ぶ。 [情報リテラシー] 情報セキュリティ（ウィルス対策、パスワード管理、暗号化、SSL等）、知的所有権（特にインターネット上で入手・参照できるWebサイトやオンラインジャーナル等の電子情報を扱う場合の著作権法上の留意点）、個人情報の保護、ネチケット、SNS等の安全かつ適切な利用方法等について学び、コンピュータリテラシー・情報リテラシーを総合的に向上させていく。 [数理・DS・AI] 情報通信技術による社会の変化（ビッグデータ、第4次産業革命、データ駆動型社会等）、活用されているデータの例（人や車の移動データ、監視カメラ等）、DS・AIの技術（機械学習等）や得手不得手、データ・AI活用の倫理・法的問題（GDPR、ELSI等）といった数理・DS・AIのリテラシーレベルの知識を学ぶ。 [数理・DS・AI] 時系列データ、平均・標準偏差・中央値等の基本統計量、相関、定量データ・定性データ等、Excelを用いてデータを扱う基本的な方法を、実データを用いて学ぶ。 [数理・DS・AI] データサイエンス実習では、課題の設定・データ収集・データの分析・プレゼンテーション資料作成という、所謂データサイエンスサイクルの一連の流れを体験する。 ※ データ・AIの利活用を学修する際は、クラスの実情に応じ、適宜グループワークやグループディスカッションを行いながら、演習を進める。 ※ 本授業の数理・DS・AIに関する内容は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）モデルカリキュラムに準拠している。
アクティブ・ラーニングの取り組み方法	発見学習／PBL(課題解決型学習)／体験学習／調査学習／グループディスカッション、ディベート
授業内容のレベル、関連科目	【授業内容のレベル】 高等学校において教科「情報」を履修していることを前提としているが、習熟度については個人差もあると考えられる。よって、入門的・基礎的な内容から始め、次第に高度な内容へと、十分に時間をかけ段階を追って授業を進めていく。 【関連科目】 学科によっては、本演習を履修した諸君を対象とする選択科目（学科によっては必修科目）の「コンピュータ実践演習Ⅰ・Ⅱ」あるいは「コンピュータ演習Ⅱ」がある。
授業外学修（予習・復習）	事前学習・事後学習については、「授業の形式・計画」の項において、個別に記載のない場合は以下のとおりである。 ・事前学習：テキストの学習予定範囲を熟読しておくこと。 ・事後学習：授業の振り返りを行い、時間内に終わらなかった課題を次の授業までにmanabaに提出すること。
授業外学修に必要な時間	◇人文社会学部 観光経営学科 開講期間内において、約30時間の授業外学修が必要になる。
使用テキスト	[教科書1] 情報リテラシーの内容に関するテキスト 『イチからしっかり学ぶ！Office基礎と情報モラルOffice365・Office2021対応』 noa出版、2022年3月 ISBN：978-4-908434-79-2 [教科書2] 数理・データサイエンス・AIの内容に関するテキスト 『[改訂新版] AIデータサイエンスリテラシー入門』

	吉岡・森倉・小林・照屋，技術評論社，2024年9月 ISBN：978-4-297-14409-8
参考書、その他 教材	第27回から第30回で行うデータサイエンス実習は、オンライン教材を使用する。 その他、必要に応じてOffice基礎、情報モラル、数理・データサイエンス・AIに関連する教材等を配布・使用する。
成績評価方法・ 基準	以下を総合して評価する。 ・授業内に出された課題の提出状況およびその内容60％（2％×30） ・教室で確認できる習熟度20％（タイピングスキル、受講態度等） ・授業内試験として実施する以下の5回の理解度確認テスト20％（4％×5） [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを高めましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-1 ～ 1-3 [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-4 ～ 1-6 [教科書2] 第3章「心得 データ・AI活用における留意事項」
課題や試験のフ ィードバック方 法	
授業の形式・計 画	◆前期 【第1回】 [PCの確認と設定] PCを確認し、必要に応じインストールや設定を行う。各自のPCを学内LANに接続し、ウィルス駆除ソフトやMicrosoft Officeのインストールや設定を行う。 ・事前学習：シラバスと新入生ガイダンス時に配付された「情報リテラシー演習・D S 概論／初回授業について」を熟読し、忘れ物がないよう準備しておくこと。初回授業の前日までに本科目の履修登録を完了しておくこと。 ・事後学習：時間内に終わらなかった設定やインストールがあれば、次の授業までに完了しておくこと。 【第2回】 [授業の内容や進め方のガイダンス] 授業の目的と内容、授業の進め方等をシラバスを用いて説明する。学修支援システムmanabaの利用方法や、学内メールの利用方法、教員との連絡手段についても説明する。 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson1 コンピューターウィルスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-1-1 IoTとビッグデータ ・事前学習：前回の授業で実施したPCやパスワード等の設定内容を忘れないように確認しておくこと。 ・事後学習：時間内に終わらなかった設定や課題を次の授業までに完了しておくこと。 【第3回】 [教科書1] Section1「Windows 11」STEP1 Windows11 Lesson1 パソコンを起動しましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson1 コンピューターウィルスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-1-2 第4次産業革命とSociety 5.0／1-1-3 Society 5.0が目指す社会 【第4回】 [教科書1] Section1「Windows 11」STEP1 Windwos11 Lesson2 エクスプローラーを操作しましょう [教科書1] NESSを用いたタイピング練習 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson1 コンピューターウィルスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-1-4 データ駆動型社会／1-2-1 様々な種類のデータ 【第5回】 [教科書1] Section1「Windows 11」STEP2 ファイルとフォルダーを操作しましょう／演習全体を通して使用する素材データを各自のPCに展開 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson2 スパイウェアを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-2-2 1次データ・2次データ・メタデータ／1-2-3 構造化データと非構造化データ 【第6回】 [教科書1] Section2「Word」STEP1 Wordの基礎を学びましょう Lesson1 Wordを起動しましょう／Lesson2 タッチタイピングをマスターしましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson3 不正アクセスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-3-1 データ・AI 活用領域の広がり／1-3-2 様々な活用目的 【第7回】 [教科書1] Section2「Word」STEP1 Wordの基礎を学びましょう Lesson3 文章を入力しましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson3 不正アクセスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-4-1 データ解析の種類／1-4-2 構造化データの可視化 【第8回】 [教科書1] Section2「Word」STEP2 文書を作成しましょう Lesson1 チラシを作成しましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson3 不正アクセスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-4-3 非構造化データの扱い方 【第9回】 [教科書1] Section2「Word」STEP2 文書を作成しましょう Lesson1 チラシを作成しましょう：練習7 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson1 情報社会の問題点を学びましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-4-4 AI（人工知能）／1-5-1 データサイエンスサイクル 【第10回】 [教科書1] Section2「Word」STEP2 文書を作成しましょう Lesson2 レポートに必要な機能を学びましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson2 著作権について学びましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-5-2 データ・AI活用用例紹介 【第11回】 [教科書1] Section2「Word」STEP2 文書を作成しましょう Lesson2 レポートに必要な機能を学びましょう：練習8 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson2 著作権について学びましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-6-1 データ・AI を活用した最新のビジネスモデル／1-6-2 AI を活用した最新の技術や関連用語 【第12回】 [教科書1] Section4「PowerPoint」STEP1 PowerPointの基礎を学びましょう／STEP2 スライドを作成しましょう Lesson1 スライドを作成しましょう(1)～(9) [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson3 個人情報の保護について学びましょう

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI活用における留意事項」3-1-1 倫理的・法的・社会的課題／3-1-2 自身に関するデータのコントロール

【第13回】

[教科書1] Section4「PowerPoint」STEP2 スライドを作成しましょう Lesson1 スライドを作成しましょう(10)～(12)／練習22

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson4 ルールとマナーを学びましょう

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI活用における留意事項」3-1-3 データ倫理／3-1-4 人間中心のAI社会原則

【第14回】

[教科書1] Section4「PowerPoint」STEP2 スライドを作成しましょう Lesson2 効果を付けましょう／練習23

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson4 ルールとマナーを学びましょう

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI活用における留意事項」3-1-5 データ・AI 活用における負の事例／3-2-1 データを守るための原則

【第15回】

[教科書1] Section4「PowerPoint」STEP3 発表しましょう／練習24

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson5 ネットコミュニケーションを学びましょう

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI活用における留意事項」3-2-2 データを守るための方法／3-2-3 セキュリティ事故の事例

◆後期

【第16回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-1 Excelの基本的な操作方法① 2-1-1 ～ 2-1-3

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう（ドリルを用いて復習）

【第17回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-1 Excelの基本的な操作方法② 2-1-4 ～ 2-1-5

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう（ドリルを用いて復習）

【第18回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-2 時系列データの可視化

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう（理解度確認テスト）

【第19回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-3 平均の算出とその可視化

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう（ドリルを用いて復習）

【第20回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-4 標準偏差の算出とその可視化

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう（ドリルを用いて復習）

【第21回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-5 大量のデータを扱う方法① 2-5-1 ～ 2-5-4

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう（理解度確認テスト）

【第22回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-5 大量のデータを扱う方法② 2-5-5

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-1 ～ 1-3（ドリルを用いて復習）

【第23回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-6 基本統計量の算出と箱ひげ図

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-1 ～ 1-3（ドリルを用いて復習）

【第24回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-7 度数分布表とヒストグラムの作成

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-1 ～ 1-3（理解度確認テスト）

【第25回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-8 散布図の作成と相関係数の算出

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-4 ～ 1-6（ドリルを用いて復習）

【第26回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-9 定性データの扱い方とクロス集計

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-4 ～ 1-6（ドリルを用いて復習）

【第27回】

[教科書1] Section3「Excel」Excelの印刷、計算、数学関数、if関数、円・複合グラフ

[データサイエンス実習] 課題の設定・実データの収集

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-4 ～ 1-6（理解度確認テスト）

【第28回】

[データサイエンス実習] データの加工と解析・推論

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI活用における留意事項」（ドリルを用いて復習）

・事前学習：[教科書2]を参考に第27回で収集したデータの特徴を考えること。

・事後学習：時間内に終わらなかった課題を次回の授業までにmanabaに提出すること。

【第29回】

[データサイエンス実習] 実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（Word）

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI活用における留意事項」（理解度確認テスト）

・事前学習：[教科書1] Section2 Step2 Lesson2を参考にレポートの書き方を復習しておくこと。

・事後学習：時間内に終わらなかった課題を次回の授業までにmanabaに提出すること。

【第30回】

[データサイエンス実習] 実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（PowerPoint）

[まとめ] 授業全体の振り返りを行うとともに、授業内容についてのアンケートを実施する。

・事前学習：[教科書1] Section4を参考にPowerPointの作成方法を復習しておくこと。

・事後学習：時間内に終わらなかった課題をmanabaに提出すること。

	注1. この授業は前期から後期にかけて行う通年の授業である。 注2. 第1回から必ずノートPCを持参すること。コンピュータのハードウェア環境およびソフトウェア環境について確認する。第1回から使用テキストも可能な限り持参すること。 注3. OSはWindows 11を前提とする。古いバージョンのOSのPCを持つ人は、演習開始時に担当教員に伝えておくこと。また、Microsoft365（もしくはOffice2019またはOffice2021）と異なるバージョンの場合は、初回授業時に対応する。 注4. 上記の通り、第18・21・24・27・29回の授業において、授業内に理解度確認テストを実施する予定である。教科書を熟読し、manabaのドリルを行って対策をしておくこと。 注5. クラスの実状に応じ、進度その他に若干の変更が生じる場合がある。担当教員の説明をよく聞いておくこと。 注6. 課題や試験のフィードバック方法：試験、小テスト、課題、レポート等について、授業時間またはmanaba等を用いて講評・解説を行う。
実務経験のある 教員による授業 科目	

授業回数	情報リテラシー演習						DS概論				座学系の内容の復習と授業内試験		
	教科書 1：Office基礎と情報モラル（noa出版）						教科書 2：AI・データサイエンスリテラシー入門（技術評論社）						
	Section	内容：Office		ページ	Section	内容：セキュリティと情報モラル		ページ	Section	内容：データサイエンス		ページ	
1	ガイダンス、PC設定												
2	manaba、学内メール等			Scetion 5 セキュリティと 情報モラル	Lesson1 コンピュータウイルス 確認ドリル1		250-255	第1章 導入 社会における データ・AI活用	1-1-1 IoTとビッグデータ		確認ドリル	8-10	
3	Section 1 Windows 11	STEP1 Lesson1 パソコンの起動			2-13	Lesson1 コンピュータウイルス 確認ドリル2			1-1-2 第4次産業革命と Society 5.0	10			
4		STEP1 Lesson2 エクスプローラー NESSの使用法、タイピング練習			14-18	Lesson1 コンピュータウイルス 確認ドリル3			1-1-3 Society 5.0が目指す社会	11-12			
5		STEP2 ファイルとフォルダー インターネット利活用、教科書データの入手			19-28	Lesson2 スパイウェア 確認ドリル4			1-1-4 データ駆動型社会	13			
6		STEP1 Lesson1 Wordの起動			30-35	Lesson3 不正アクセス 確認ドリル5			1-2-1 様々な種類のデータ	14-15			
7	Section 2 Word	STEP1 Lesson2 タッチタイピング		36-51	Lesson3 不正アクセス 確認ドリル6		1-2-2 1次データ・2次データ・メタデータ		15-16				
8		STEP1 Lesson3 文章の入力		52-59	Lesson3 不正アクセス 確認ドリル7		1-2-3 構造化データと非構造化データ		16-17				
9		STEP2 Lesson1 チラシの作成		60-79			1-3-1 データ・AI 活用領域の広がり		18-19				
10		STEP2 Lesson1 練習7		80			1-3-2 様々な活用目的		19-20				
11		STEP2 Lesson2 レポートの作成		81-97			1-4-1 データ解析の種類		21-22				
12	Section 4 PowerPoint	STEP2 Lesson2 練習8		98			1-4-2 構造化データの可視化	22-23					
13		STEP1 PowerPointの基礎		178-185	Scetion 5 セキュリティと 情報モラル	Lesson1 情報社会の問題点 確認ドリル 1		23-25					
14		STEP2 Lesson1 スライドの作成(1)～(9)		186-208		Lesson2 著作権 確認ドリル 2		26					
15		STEP2 Lesson1 スライドの作成(10)～(12)		209-219		Lesson2 著作権 確認ドリル 3		27					
16		STEP2 Lesson2 効果を付ける、練習23		222-234		Lesson3 個人情報の保護 確認ドリル 4		28-33					
17	STEP3 発表しましょう、練習24		235-242	Lesson4 ルールとマナー 確認ドリル 5		29-30							
18				Lesson4 ルールとマナー 確認ドリル 6		31-32	第3章 心得 データ・AI活用に おける留意事項	1-5-1 データサイエンスサイクル		34-35			
19				Lesson5 ネットコミュニケーション 確認ドリル 7		33-34		1-5-2 データ・AI活用例紹介		35-36			
20						35-36		1-6-1 データ・AI を活用した最新のビジネスモデル		166			
21						37-38		1-6-2 AI を活用した最新の技術や関連用語		167-168			
22						39-40		3-1-1 倫理的・法的・社会的課題		168			
23						41-42		3-1-2 自身に関するデータのコントロール		168-169			
24						43-44		3-1-3 データ倫理		169			
25						45-46		3-1-4 人間中心のAI社会原則		170			
26						47-48		3-1-5 データ・AI活用における留意事項		170-172			
27						49-50		3-2-1 データを守るための原則		172			
28						51-52	3-2-2 データを守るための方法						
29						53-54	3-2-3 セキュリティ事故の事例とサイバーセキュリティ						
30						55-56							
31						57-58							
32						59-60							
33						61-62							
34						63-64							
35						65-66							
36						67-68							
37						69-70							
38						71-72							
39						73-74							
40						75-76							
41						77-78							
42						79-80							
43						81-82							
44						83-84							
45						85-86							
46						87-88							
47						89-90							
48						91-92							
49						93-94							
50						95-96							
51						97-98							
52						99-100							
53						101-102							
54						103-104							
55						105-106							
56						107-108							
57						109-110							
58						111-112							
59						113-114							
60						115-116							
61						117-118							
62						119-120							
63						121-122							
64						123-124							
65						125-126							
66						127-128							
67						129-130							
68						131-132							
69						133-134							
70						135-136							
71						137-138							
72						139-140							
73						141-142							
74						143-144							
75						145-146							
76						147-148							
77						149-150							
78						151-152							
79						153-154							
80						155-156							
81						157-158							
82						159-160							
83						161-162							
84						163-164							
85						165-166							
86						167-168							
87						169-170							
88						171-172							
89						173-174							
90						175-176							
91						177-178							
92						179-180							
93						181-182							
94						183-184							
95						185-186							
96						187-188							
97						189-190							
98						191-192							
99						193-194							
100						195-196							
101						197-198							
102						199-200							
103						201-202							
104						203-204							
105						205-206							
106						207-208							
107						209-210							
108						211-212							
109						213-214							
110						215-216							
111						217-218							
112						219-220							
113						221-222							
114						223-224							
115						225-226							
116						227-228							
117						229-230							
118						231-232							
119						233-234							
120						235-236							
121						237-238							
122						239-240							
123						241-242							
124						243-244							
125						245-246							
126						247-248							
127						249-250							
128						251-252							
129						253-254							
130						255-256							
131						257-258							
132						259-260							
133						261-262							
134						263-264							
135						265-266							
136						267-268							
137						269-270							
138						271-272							
139						273-274							
140						275-276							
141						277-278							
142						279-280							
143						281-282							
144						283-284							
145						285-286							
146						287-288							
147						289-290							
148						291-292							
149						293-294							
150						295-296							
151						297-298							
152						299-300							
153						301-302							
154						303-304							
155						305-306							
156						307-308							
157						309-310							
158						311-312							
159						313-314							
160						315-316							
161						317-318							
162						319-320							
163						321-322							
164						323-324							
165						325-326							
166						327-328							
167						329-330							
168						331-332							
169						333-334							
170						335-336							
171						337-338							
172						339-340							
173						341-342							
174						343-344							
175						345-346							
176						347-348							
177						349-350							
178						351-352							
179						353-354							
180						355-356							
181						357-358							
182						359-360							
183						361-362							
184						363-364							
185						365-366							
186						367-368							
187						369-370							
188						371-372							
189						373-374							
190						375-376							
191						377-378							
192						379-380							
193						381-382							
194						383-384							
195						385-386							
196						387-388							
197						389-390							
198						391-392							
199						393-394							
200						395-396							
201						397-398							
202						399-400							
203						401-402							
204						403-404							
205						405-406							
206						407-408							
207						409-410							
208						411-412							
209						413-414							
210						415-416							
211						417-418							
212						419-420							
213						421-422							
214						423-424							
215						425-426							
216						427-428							
217						429-430							
218						431-432							
219						43							

年度	2026年度						
授業科目名	情報リテラシー演習・DS概論【(観光)3】	授業形態	演習	授業形式		授業コード	3122012729
ナンバリング	人文社会学部 観光経営学科(D6112)						
担当教員	甲斐 聖一						
配当学年	1年：人文社会学部 観光経営学科(26,25,24,23)					学期	2026年度前期、 2026年度後期
単位数	2単位：人文社会学部 観光経営学科(26,25,24,23)						
必修カリキュラム	人文社会学部 観光経営学科(26,25,24,23)						
カリキュラム	人文社会学部 観光経営学科(26,25,24,23)						
資格認定・一部試験免除との関連							

授業のねらい及び到達目標	【授業のねらい】 現代の情報化社会に生きる我々にとってコンピュータや通信機器は必須の道具となっており、これらを使いこなす能力は我々現代人に求められる基本的なスキルといえる。これらは単に個人が文書作成や数値計算をするための道具ではなく、ネットワークを介して人間同士がコミュニケーションを行うための重要な道具ともなっている。また、様々な分野において、人々の行動データ等の膨大なデータや人工知能（Artificial Intelligence: AI）を活用したりすることが増えてきた。このような状況をふまえ、本授業では文書作成ソフトウェアWord（以下「Word」と記す）、表計算ソフトウェアExcel（以下「Excel」と記す）、プレゼンテーション資料作成ツールPowerPoint（以下「PowerPoint」と記す）の操作方法や基本的な機能を学ぶと同時に、学内LANやインターネットを利用する過程で、そのネットワーク環境を効果的、安全、適正に使用するための知識や技術を習得する。また、データサイエンスやAIに関するリテラシーレベルの知識を習得し、これらの適切な使い方を修得する。さらに、将来取り組む課題の解決に必要なとなる情報の探索・収集、分析・整理、アウトプット（レポート、プレゼンテーション等）といった一連の情報利活用能力を身につけることを目的とする。 【到達目標】 [教科書1] のWindows 11・Word・Excel・PowerPointの各Sectionにある「練習」レベルの問題ができること。 [教科書1] のSection5「セキュリティと情報モラル」の内容を理解し、適切に行動できること。 [教科書2] の第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」・第3章「心得データ・AI活用における留意事項」の内容を理解し、データサイエンス・AIの現代社会における役割や留意事項を説明できること。 [教科書2] の第2章「基礎 データリテラシー」の内容を理解し、データを取り扱い、読み、説明することができること。
学修内容・方法	本授業では、情報リテラシーに関する内容と、数理・データサイエンス・AIに関する内容（以下「数理・DS・AI」）について、以下の通り学修する。 [情報リテラシー] オペレーティングシステムの基本操作、タイピングや日本語入力方法のマスターを前提として、Microsoft365（もしくはOffice2019またはOffice2021）に含まれるWord、Excel、PowerPoint等の操作方法や基本的な機能について学ぶ。 [情報リテラシー] 教室その他における学内LANの利用方法や、WWW、E-Mail等を用いたインターネット上での情報交換・情報発信・情報収集の方法について学ぶ。 [情報リテラシー] 情報セキュリティ（ウィルス対策、パスワード管理、暗号化、SSL等）、知的所有権（特にインターネット上で入手・参照できるWebサイトやオンラインジャーナル等の電子情報を扱う場合の著作権法上の留意点）、個人情報の保護、ネチケット、SNS等の安全かつ適切な利用方法等について学び、コンピュータリテラシー・情報リテラシーを総合的に向上させていく。 [数理・DS・AI] 情報通信技術による社会の変化（ビッグデータ、第4次産業革命、データ駆動型社会等）、活用されているデータの例（人や車の移動データ、監視カメラ等）、DS・AIの技術（機械学習等）や得手不得手、データ・AI活用の倫理・法的問題（GDPR、ELSI等）といった数理・DS・AIのリテラシーレベルの知識を学ぶ。 [数理・DS・AI] 時系列データ、平均・標準偏差・中央値等の基本統計量、相関、定量データ・定性データ等、Excelを用いてデータを扱う基本的な方法を、実データを用いて学ぶ。 [数理・DS・AI] データサイエンス実習では、課題の設定・データ収集・データの分析・プレゼンテーション資料作成という、所謂データサイエンスサイクルの一連の流れを体験する。 ※ データ・AIの利活用を学修する際は、クラスの実情に応じ、適宜グループワークやグループディスカッションを行いながら、演習を進める。 ※ 本授業の数理・DS・AIに関する内容は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）モデルカリキュラムに準拠している。
アクティブ・ラーニングの取り組み方法	発見学習／PBL(課題解決型学習)／体験学習／調査学習／グループディスカッション、ディベート
授業内容のレベル、関連科目	【授業内容のレベル】 高等学校において教科「情報」を履修していることを前提としているが、習熟度については個人差もあると考えられる。よって、入門的・基礎的な内容から始め、次第に高度な内容へと、十分に時間をかけ段階を追って授業を進めていく。 【関連科目】 学科によっては、本演習を履修した諸君を対象とする選択科目（学科によっては必修科目）の「コンピュータ実践演習Ⅰ・Ⅱ」あるいは「コンピュータ演習Ⅱ」がある。
授業外学修（予習・復習）	事前学習・事後学習については、「授業の形式・計画」の項において、個別に記載のない場合は以下のとおりである。 ・事前学習：テキストの学習予定範囲を熟読しておくこと。 ・事後学習：授業の振り返りを行い、時間内に終わらなかった課題を次の授業までにmanabaに提出すること。
授業外学修に必要な時間	◇人文社会学部 観光経営学科 開講期間内において、約30時間の授業外学修が必要になる。
使用テキスト	[教科書1] 情報リテラシーの内容に関するテキスト 『イチからしっかり学ぶ！Office基礎と情報モラルOffice365・Office2021対応』 noa出版、2022年3月 ISBN：978-4-908434-79-2 [教科書2] 数理・データサイエンス・AIの内容に関するテキスト 『[改訂新版] AIデータサイエンスリテラシー入門』

	吉岡・森倉・小林・照屋，技術評論社，2024年9月 ISBN：978-4-297-14409-8
参考書、その他 教材	第27回から第30回で行うデータサイエンス実習は、オンライン教材を使用する。 その他、必要に応じてOffice基礎、情報モラル、数理・データサイエンス・AIに関連する教材等を配布・使用する。
成績評価方法・ 基準	以下を総合して評価する。 ・授業内に出された課題の提出状況およびその内容60％（2％×30） ・教室で確認できる習熟度20％（タイピングスキル、受講態度等） ・授業内試験として実施する以下の5回の理解度確認テスト20％（4％×5） [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを高めましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-1 ～ 1-3 [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-4 ～ 1-6 [教科書2] 第3章「心得 データ・AI活用における留意事項」
課題や試験のフ ィードバック方 法	
授業の形式・計 画	◆前期 【第1回】 [PCの確認と設定] PCを確認し、必要に応じインストールや設定を行う。各自のPCを学内LANに接続し、ウィルス駆除ソフトやMicrosoft Officeのインストールや設定を行う。 ・事前学習：シラバスと新入生ガイダンス時に配付された「情報リテラシー演習・D S 概論／初回授業について」を熟読し、忘れ物がないよう準備しておくこと。初回授業の前日までに本科目の履修登録を完了しておくこと。 ・事後学習：時間内に終わらなかった設定やインストールがあれば、次の授業までに完了しておくこと。 【第2回】 [授業の内容や進め方のガイダンス] 授業の目的と内容、授業の進め方等をシラバスを用いて説明する。学修支援システムmanabaの利用方法や、学内メールの利用方法、教員との連絡手段についても説明する。 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson1 コンピューターウィルスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-1-1 IoTとビッグデータ ・事前学習：前回の授業で実施したPCやパスワード等の設定内容を忘れないように確認しておくこと。 ・事後学習：時間内に終わらなかった設定や課題を次の授業までに完了しておくこと。 【第3回】 [教科書1] Section1「Windows 11」STEP1 Windows11 Lesson1 パソコンを起動しましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson1 コンピューターウィルスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-1-2 第4次産業革命とSociety 5.0／1-1-3 Society 5.0が目指す社会 【第4回】 [教科書1] Section1「Windows 11」STEP1 Windwos11 Lesson2 エクスプローラーを操作しましょう [教科書1] NESSを用いたタイピング練習 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson1 コンピューターウィルスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-1-4 データ駆動型社会／1-2-1 様々な種類のデータ 【第5回】 [教科書1] Section1「Windows 11」STEP2 ファイルとフォルダーを操作しましょう／演習全体を通して使用する素材データを各自のPCに展開 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson2 スパイウェアを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-2-2 1次データ・2次データ・メタデータ／1-2-3 構造化データと非構造化データ 【第6回】 [教科書1] Section2「Word」STEP1 Wordの基礎を学びましょう Lesson1 Wordを起動しましょう／Lesson2 タッチタイピングをマスターしましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson3 不正アクセスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-3-1 データ・AI 活用領域の広がり／1-3-2 様々な活用目的 【第7回】 [教科書1] Section2「Word」STEP1 Wordの基礎を学びましょう Lesson3 文章を入力しましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson3 不正アクセスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-4-1 データ解析の種類／1-4-2 構造化データの可視化 【第8回】 [教科書1] Section2「Word」STEP2 文書を作成しましょう Lesson1 チラシを作成しましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson3 不正アクセスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-4-3 非構造化データの扱い方 【第9回】 [教科書1] Section2「Word」STEP2 文書を作成しましょう Lesson1 チラシを作成しましょう：練習7 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson1 情報社会の問題点を学びましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-4-4 AI（人工知能）／1-5-1 データサイエンスサイクル 【第10回】 [教科書1] Section2「Word」STEP2 文書を作成しましょう Lesson2 レポートに必要な機能を学びましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson2 著作権について学びましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-5-2 データ・AI活用用例紹介 【第11回】 [教科書1] Section2「Word」STEP2 文書を作成しましょう Lesson2 レポートに必要な機能を学びましょう：練習8 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson2 著作権について学びましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-6-1 データ・AI を活用した最新のビジネスモデル／1-6-2 AI を活用した最新の技術や関連用語 【第12回】 [教科書1] Section4「PowerPoint」STEP1 PowerPointの基礎を学びましょう／STEP2 スライドを作成しましょう Lesson1 スライドを作成しましょう(1)～(9) [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson3 個人情報の保護について学びましょう

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI活用における留意事項」3-1-1 倫理的・法的・社会的課題／3-1-2 自身に関するデータのコントロール

【第13回】

[教科書1] Section4「PowerPoint」STEP2 スライドを作成しましょう Lesson1 スライドを作成しましょう(10)～(12)／練習22

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson4 ルールとマナーを学びましょう

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI活用における留意事項」3-1-3 データ倫理／3-1-4 人間中心のAI社会原則

【第14回】

[教科書1] Section4「PowerPoint」STEP2 スライドを作成しましょう Lesson2 効果を付けましょう／練習23

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson4 ルールとマナーを学びましょう

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI活用における留意事項」3-1-5 データ・AI 活用における負の事例／3-2-1 データを守るための原則

【第15回】

[教科書1] Section4「PowerPoint」STEP3 発表しましょう／練習24

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson5 ネットコミュニケーションを学びましょう

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI活用における留意事項」3-2-2 データを守るための方法／3-2-3 セキュリティ事故の事例

◆後期

【第16回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-1 Excelの基本的な操作方法① 2-1-1 ～ 2-1-3

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう（ドリルを用いて復習）

【第17回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-1 Excelの基本的な操作方法② 2-1-4 ～ 2-1-5

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう（ドリルを用いて復習）

【第18回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-2 時系列データの可視化

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう（理解度確認テスト）

【第19回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-3 平均の算出とその可視化

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう（ドリルを用いて復習）

【第20回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-4 標準偏差の算出とその可視化

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう（ドリルを用いて復習）

【第21回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-5 大量のデータを扱う方法① 2-5-1 ～ 2-5-4

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう（理解度確認テスト）

【第22回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-5 大量のデータを扱う方法② 2-5-5

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-1 ～ 1-3（ドリルを用いて復習）

【第23回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-6 基本統計量の算出と箱ひげ図

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-1 ～ 1-3（ドリルを用いて復習）

【第24回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-7 度数分布表とヒストグラムの作成

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-1 ～ 1-3（理解度確認テスト）

【第25回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-8 散布図の作成と相関係数の算出

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-4 ～ 1-6（ドリルを用いて復習）

【第26回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-9 定性データの扱い方とクロス集計

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-4 ～ 1-6（ドリルを用いて復習）

【第27回】

[教科書1] Section3「Excel」Excelの印刷、計算、数学関数、if関数、円・複合グラフ

[データサイエンス実習] 課題の設定・実データの収集

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-4 ～ 1-6（理解度確認テスト）

【第28回】

[データサイエンス実習] データの加工と解析・推論

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI活用における留意事項」（ドリルを用いて復習）

・事前学習：[教科書2]を参考に第27回で収集したデータの特徴を考えること。

・事後学習：時間内に終わらなかった課題を次回の授業までにmanabaに提出すること。

【第29回】

[データサイエンス実習] 実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（Word）

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI活用における留意事項」（理解度確認テスト）

・事前学習：[教科書1] Section2 Step2 Lesson2を参考にレポートの書き方を復習しておくこと。

・事後学習：時間内に終わらなかった課題を次回の授業までにmanabaに提出すること。

【第30回】

[データサイエンス実習] 実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（PowerPoint）

[まとめ] 授業全体の振り返りを行うとともに、授業内容についてのアンケートを実施する。

・事前学習：[教科書1] Section4を参考にPowerPointの作成方法を復習しておくこと。

・事後学習：時間内に終わらなかった課題をmanabaに提出すること。

	注1. この授業は前期から後期にかけて行う通年の授業である。 注2. 第1回から必ずノートPCを持参すること。コンピュータのハードウェア環境およびソフトウェア環境について確認する。第1回から使用テキストも可能な限り持参すること。 注3. OSはWindows 11を前提とする。古いバージョンのOSのPCを持つ人は、演習開始時に担当教員に伝えておくこと。また、Microsoft365（もしくはOffice2019またはOffice2021）と異なるバージョンの場合は、初回授業時に対応する。 注4. 上記の通り、第18・21・24・27・29回の授業において、授業内に理解度確認テストを実施する予定である。教科書を熟読し、manabaのドリルを行って対策をしておくこと。 注5. クラスの実状に応じ、進度その他に若干の変更が生じる場合がある。担当教員の説明をよく聞いておくこと。 注6. 課題や試験のフィードバック方法：試験、小テスト、課題、レポート等について、授業時間またはmanaba等を用いて講評・解説を行う。
実務経験のある 教員による授業 科目	

授業回数	情報リテラシー演習						DS概論				座学系の内容の復習と授業内試験	
	教科書１：Office基礎と情報モラル（noa出版）						教科書２：AI・データサイエンスリテラシー入門（技術評論社）					
	Section	内容：Office		ページ	Section	内容：セキュリティと情報モラル		ページ	Section	内容：データサイエンス		ページ
1	ガイダンス、PC設定											
2	manaba、学内メール等			Scetion 5 セキュリティと 情報モラル	Lesson1 コンピュータウイルス 確認ドリル1	250-255	第1章 導入 社会における データ・AI活用	1-1-1 IoTとビッグデータ	確認ドリル	8-10		
3	Section 1 Windows 11	STEP1 Lesson1 パソコンの起動	2-13		Lesson1 コンピュータウイルス 確認ドリル2			1-1-2 第4次産業革命と Society 5.0		10		
4		STEP1 Lesson2 エクスプローラー NESSの使用法、タイピング練習	14-18		Lesson1 コンピュータウイルス 確認ドリル3			1-1-3 Society 5.0が目指す社会		11-12		
5		STEP2 ファイルとフォルダー インターネット利活用、教科書データの入手	19-28		Lesson2 スパイウェア 確認ドリル4	1-1-4 データ駆動型社会		13				
6		Section 2 Word	STEP1 Lesson1 Wordの起動	30-35	STEP 1 セキュリティ	Lesson3 不正アクセス 確認ドリル5		1-2-1 様々な種類のデータ		14-15		
7	STEP1 Lesson2 タッチタイピング		36-51	Lesson3 不正アクセス 確認ドリル6		1-2-2 1次データ・2次データ・メタデータ		15-16				
8	STEP1 Lesson3 文章の入力		52-59	Lesson3 不正アクセス 確認ドリル7		1-2-3 構造化データと非構造化データ		16-17				
9	STEP2 Lesson1 チラシの作成		60-79	Lesson1 情報社会の問題点 確認ドリル1		1-3-1 データ・AI 活用領域の広がり		18-19				
10	STEP2 Lesson1 練習7		80	Lesson2 著作権 確認ドリル2		1-3-2 様々な活用目的		19-20				
11	STEP2 Lesson2 レポートの作成	81-97	Scetion 5 セキュリティと 情報モラル	Lesson3 個人情報保護 確認ドリル3	1-4-1 データ解析の種類	21-22						
12	Section 4 PowerPoint	STEP1 PowerPointの基礎		178-185	STEP 2 情報モラル	Lesson4 ルールとマナー 確認ドリル4	1-4-2 構造化データの可視化	22-23				
13		STEP2 Lesson1 スライドの作成(1)～(9)		186-208		第3章 心得 データ・AI活用に おける留意事項	Lesson3 個人情報保護 確認ドリル5	1-4-3 非構造化データの扱い方		23-25		
14		STEP2 Lesson2 スライドの作成(10)～(12)	209-219	Lesson4 ルールとマナー 確認ドリル6			1-4-4 AI（人工知能）	26				
15		STEP2 Lesson2 効果を付ける、練習23	222-234	Lesson5 ネットコミュニケーション 確認ドリル7			1-5-1 データサイエンスサイクル	27				
16	STEP3 発表しましょう、練習24	235-242	Lesson1 情報社会の問題点 確認ドリル1	1-5-2 データ・AI活用例紹介	28-33							
17							1-6-1 データ・AI を活用した最新のビジネスモデル	34-35				
18							1-6-2 AI を活用した最新の技術や関連用語	35-36				
19							3-1-1 倫理的・法的・社会的課題	166				
20							3-1-2 自身に関するデータのコントロール	167-168				
21							3-1-3 データ倫理	168				
22							3-1-4 人間中心のAI社会原則	168-169				
23							3-1-5 データ・AI活用における留意事項	169				
24							3-2-1 データを守るための原則	170				
25							3-2-2 データを守るための方法	170-172				
26							3-2-3 セキュリティ事故の事例とサイバーセキュリティ	172				
27	Section 3 Excel	Excel印刷、計算、数学関数、if関数、円・複合グラフ		オンライン教材	課題の設定・実データの収集			(DS・AI) 第1章 1-4～1-6【授業内試験】				
28					実データの加工と解析・推論			(DS・AI) 第3章【復習】				
29					実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（Word）			(DS・AI) 第3章【授業内試験】				
30	授業全体の振り返りとアンケート				実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（PowerPoint）							

年度	2026年度						
授業科目名	情報リテラシー演習・ＤＳ概論 【(再履修)】	授業形態	演習	授業形式		授業コード	3122012737
ナンバリング	人文社会学部人間文化学科 福祉コース(D1112) 人文社会学部人間文化学科 メディア文化コー(D1112) 人文社会学部人間文化学科 グローバルコミュ(D1112) 人文社会学部経営学科 経営コース(D2112) 人文社会学部経営学科 トレーナー・スポ(D2112) 人文社会学部経営学科 経営情報コース(D2112) 人文社会学部教育学科 小学校・特別支援(D4112) 人文社会学部教育学科 保育・幼稚園コー(D4112) 人文社会学部 観光経営学科(D6112) ヒューマンケア 看護学科(B1112) 薬学部 薬学科(C11A1)						
担当教員	内藤 旭恵						
配当学年	1年：薬学部 薬学科(25,24,23,22) ヒューマンケア 看護学科(25,24,23) 人文社会学部 観光経営学科(25,24,23) 人文社会学部教育学科 保育・幼稚園コー(25,24,23) 人文社会学部教育学科 小学校・特別支援(25,24,23) 人文社会学部経営学科 経営情報コース(25,24,23) 人文社会学部経営学科 トレーナー・スポ(25,24,23) 人文社会学部経営学科 経営コース(25,24,23) 人文社会学部人間文化学科 グローバルコミュ(25,24,23) 人文社会学部人間文化学科 メディア文化コー(25,24,23) 人文社会学部人間文化学科 福祉コース(25,24,23)					学期	2026年度前期、 2026年度後期
単位数	2単位：薬学部 薬学科(25,24,23,22) ヒューマンケア 看護学科(25,24,23) 人文社会学部 観光経営学科(25,24,23) 人文社会学部教育学科 保育・幼稚園コー(25,24,23) 人文社会学部教育学科 小学校・特別支援(25,24,23) 人文社会学部経営学科 経営情報コース(25,24,23) 人文社会学部経営学科 トレーナー・スポ(25,24,23) 人文社会学部経営学科 経営コース(25,24,23) 人文社会学部人間文化学科 グローバルコミュ(25,24,23) 人文社会学部人間文化学科 メディア文化コー(25,24,23) 人文社会学部人間文化学科 福祉コース(25,24,23)						
必修カリキュラム	薬学部 薬学科(25,24,23,22) ヒューマンケア 看護学科(25,24,23) 人文社会学部 観光経営学科(25,24,23) 人文社会学部教育学科 保育・幼稚園コー(25,24,23) 人文社会学部教育学科 小学校・特別支援(25,24,23) 人文社会学部経営学科 経営情報コース(25,24,23) 人文社会学部経営学科 トレーナー・スポ(25,24,23) 人文社会学部経営学科 経営コース(25,24,23) 人文社会学部人間文化学科 グローバルコミュ(25,24,23) 人文社会学部人間文化学科 メディア文化コー(25,24,23) 人文社会学部人間文化学科 福祉コース(25,24,23)						
カリキュラム	人文社会学部人間文化学科 福祉コース(25,24,23) 人文社会学部人間文化学科 メディア文化コー(25,24,23) 人文社会学部人間文化学科 グローバルコミュ(25,24,23) 人文社会学部経営学科 経営コース(25,24,23) 人文社会学部経営学科 トレーナー・スポ(25,24,23) 人文社会学部経営学科 経営情報コース(25,24,23) 人文社会学部教育学科 小学校・特別支援(25,24,23) 人文社会学部教育学科 保育・幼稚園コー(25,24,23) 人文社会学部 観光経営学科(25,24,23) ヒューマンケア 看護学科(25,24,23) 薬学部 薬学科(25,24,23,22)						
資格認定・一部試験免除との関連	◇養護教諭二種免許状 ヒューマンケア 看護学科(25,24,23) ◇保育士 人文社会学部教育学科 保育・幼稚園コー(25,24,23) ◇幼稚園教諭一種免許状 人文社会学部教育学科 保育・幼稚園コー(25,24,23) ◇小学校教諭一種免許状 人文社会学部教育学科 保育・幼稚園コー(25,24,23) 人文社会学部教育学科 小学校・特別支援(25,24,23)						

授業のねらい及び到達目標	【授業のねらい】 現代の情報化社会に生きる我々にとってコンピュータや通信機器は必須の道具となっており、これらを使いこなす能力は我々現代人に求められる基本的なスキルといえる。これらは単に個人が文書作成や数値計算をするための道具ではなく、ネットワークを介して人間同士がコミュニケーションを行うための重要な道具ともなっている。また、様々な分野において、人々の行動データ等の膨大なデータや人工知能（Artificial Intelligence: AI）を活用したりすることが増えてきた。このような状況をふまえ、本授業では文書作成ソフトウェアWord（以下「Word」と記す）、表計算ソフトウェアExcel（以下「Excel」と記す）、プレゼンテーション資料作成ツールPowerPoint（以下「PowerPoint」と記す）の操作方法や基本的な機能を学ぶと同時に、学内LANやインターネットを利用する過程で、そのネットワーク環境を効果的、安全、適正に使用するための知識や技術を習得する。また、データサイエンスやAIに関するリテラシーレベルの知識を習得し、これらの適切な使い方を修得する。さらに、将来取り組む課題の解決に必要となる情報の探索・収集、分析・整理、アウトプット（レポート、プレゼンテーション等）といった一連の情報利活用能力を身につけることを目的とする。 【到達目標】
--------------	--

	[教科書1] のWindows 11・Word・Excel・PowerPointの各Sectionにある「練習」レベルの問題ができること。 [教科書1] のSection5「セキュリティと情報モラル」の内容を理解し、適切に行動できること。 [教科書2] の第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」・第3章「心得データ・AI活用における留意事項」の内容を理解し、データサイエンス・AIの現代社会における役割や留意事項を説明できること。 [教科書2] の第2章「基礎 データリテラシー」の内容を理解し、データを取り扱い、読み、説明することができること。
学修内容・方法	本授業では、情報リテラシーに関する内容と、数理・データサイエンス・AIに関する内容（以下「数理・DS・AI」）について、以下の通り学修する。 [情報リテラシー] オペレーティングシステムの基本操作、タイピングや日本語入力方法のマスターを前提として、Microsoft365（もしくはOffice2019またはOffice2021）に含まれるWord、Excel、PowerPoint等の操作方法や基本的な機能について学ぶ。 [情報リテラシー] 教室その他における学内LANの利用方法や、WWW、E-Mail等を用いたインターネット上での情報交換・情報発信・情報収集の方法について学ぶ。 [情報リテラシー] 情報セキュリティ（ウィルス対策、パスワード管理、暗号化、SSL等）、知的所有権（特にインターネット上で入手・参照できるWebサイトやオンラインジャーナル等の電子情報を扱う場合の著作権法上の留意点）、個人情報の保護、ネットケット、SNS等の安全かつ適切な利用方法等について学び、コンピュータリテラシー・情報リテラシーを総合的に向上させていく。 [数理・DS・AI] 情報通信技術による社会の変化（ビッグデータ、第4次産業革命、データ駆動型社会等）、活用されているデータの例（人や車の移動データ、監視カメラ等）、DS・AIの技術（機械学習等）や得手不得手、データ・AI活用の倫理・法的問題（GDPR、ELSI等）といった数理・DS・AIのリテラシーレベルの知識を学ぶ。 [数理・DS・AI] 時系列データ、平均・標準偏差・中央値等の基本統計量、相関、定量データ・定性データ等、Excelを用いてデータを扱う基本的な方法を、実データを用いて学ぶ。 [数理・DS・AI] データサイエンス実習では、課題の設定・データ収集・データの分析・プレゼンテーション資料作成という、所謂データサイエンスサイクルの一連の流れを体験する。 ※ データ・AIの利活用を学修する際は、クラスの実情に応じ、適宜グループワークやグループディスカッションを行いながら、演習を進める。 ※ 本授業の数理・DS・AIに関する内容は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）モデルカリキュラムに準拠している。
アクティブ・ラーニングの取り組み方法	発見学習／PBL(課題解決型学習)／体験学習／調査学習／グループディスカッション、ディベート
授業内容のレベル、関連科目	【授業内容のレベル】 高等学校において教科「情報」を履修していることを前提としているが、習熟度については個人差もあると考えられる。よって、入門的・基礎的な内容から始め、次第に高度な内容へと、十分に時間をかけ段階を追って授業を進めていく。 【関連科目】 学科によっては、本演習を履修した諸君を対象とする選択科目（学科によっては必修科目）の「コンピュータ実践演習Ⅰ・Ⅱ」あるいは「コンピュータ演習Ⅱ」がある。
授業外学修（予習・復習）	事前学習・事後学習については、「授業の形式・計画」の項において、個別に記載のない場合は以下のとおりである。 ・事前学習：テキストの学習予定範囲を熟読しておくこと。 ・事後学習：授業の振り返りを行い、時間内に終わらなかった課題を次回の授業までにmanabaに提出すること。
授業外学修に必要な時間	◇人文社会学部人間文化学科 福祉コース 開講期間内において、約30時間の授業外学修が必要になる。 ◇人文社会学部人間文化学科 メディア文化コー 開講期間内において、約30時間の授業外学修が必要になる。 ◇人文社会学部人間文化学科 グローバルコミュ 開講期間内において、約30時間の授業外学修が必要になる。 ◇人文社会学部経営学科 経営コース 開講期間内において、約30時間の授業外学修が必要になる。 ◇人文社会学部経営学科 トレーナー・スポ 開講期間内において、約30時間の授業外学修が必要になる。 ◇人文社会学部経営学科 経営情報コース 開講期間内において、約30時間の授業外学修が必要になる。 ◇人文社会学部教育学科 小学校・特別支援 開講期間内において、約30時間の授業外学修が必要になる。 ◇人文社会学部教育学科 保育・幼稚園コー 開講期間内において、約30時間の授業外学修が必要になる。 ◇人文社会学部 観光経営学科 開講期間内において、約30時間の授業外学修が必要になる。 ◇ヒューマンケア 看護学科 開講期間内において、約30時間の授業外学修が必要になる。 ◇薬学部 薬学科 開講期間内において、約30時間の授業外学修が必要になる。
使用テキスト	[教科書1] 情報リテラシーの内容に関するテキスト 『イチからしっかり学ぶ！Office基礎と情報モラルOffice365・Office2021対応』 noa出版、2022年3月 ISBN：978-4-908434-79-2 [教科書2] 数理・データサイエンス・AIの内容に関するテキスト 『[改訂新版] AIデータサイエンスリテラシー入門』 吉岡・森倉・小林・照屋、技術評論社、2024年9月 ISBN：978-4-297-14409-8
参考書、その他教材	第27回から第30回で行うデータサイエンス実習は、オンライン教材を使用する。 その他、必要に応じてOffice基礎、情報モラル、数理・データサイエンス・AIに関連する教材等を配布・使用する。
成績評価方法・基準	以下を総合して評価する。 ・授業内に出された課題の提出状況およびその内容60％（2％×30） ・教室で確認できる習熟度20％（タイピングスキル、受講態度等） ・授業内試験として実施する以下の5回の理解度確認テスト20％（4％×5） [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを高めましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-1～1-3 [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-4～1-6 [教科書2] 第3章「心得 データ・AI活用における留意事項」

課題や試験のフィードバック方法	試験、小テスト、課題、レポート等について、授業時間またはmanaba等を用いて講評・解説を行う。
授業の形式・計画	◆前期 【第1回】 [PCの確認と設定] PCを確認し、必要に応じインストールや設定を行う。各自のPCを学内LANに接続し、ウィルス駆除ソフトやMicrosoft Officeのインストールや設定を行う。 ・事前学習：シラバスと新入生ガイダンス時に配付された「情報リテラシー演習・D S 概論／初回授業について」を熟読し、忘れ物がないよう準備しておくこと。初回授業の前日までに本科目の履修登録を完了しておくこと。 ・事後学習：時間内に終わらなかった設定やインストールがあれば、次の授業までに完了しておくこと。 【第2回】 [授業の内容や進め方のガイダンス] 授業の目的と内容、授業の進め方等をシラバスを用いて説明する。学修支援システムmanabaの利用方法や、学内メールの利用方法、教員との連絡手段についても説明する。 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson1 コンピューターウィルスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-1-1 IoTとビッグデータ ・事前学習：前回の授業で実施したPCやパスワード等の設定内容を忘れないように確認しておくこと。 ・事後学習：時間内に終わらなかった設定や課題を次の授業までに完了しておくこと。 【第3回】 [教科書1] Section1「Windows 11」STEP1 Windows11 Lesson1 パソコンを起動しましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson1 コンピューターウィルスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-1-2 第4次産業革命とSociety 5.0／1-1-3 Society 5.0が目指す社会 【第4回】 [教科書1] Section1「Windows 11」STEP1 Windwos11 Lesson2 エクスプローラーを操作しましょう [教科書1] NESSを用いたタイピング練習 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson1 コンピューターウィルスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-1-4 データ駆動型社会／1-2-1 様々な種類のデータ 【第5回】 [教科書1] Section1「Windows 11」STEP2 ファイルとフォルダーを操作しましょう／演習全体を通して使用する素材データを各自のPCに展開 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson2 スパイウェアを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-2-2 1次データ・2次データ・メタデータ／1-2-3 構造化データと非構造化データ 【第6回】 [教科書1] Section2「Word」STEP1 Wordの基礎を学びましょう Lesson1 Wordを起動しましょう／Lesson2 タッチタイピングをマスターしましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson3 不正アクセスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-3-1 データ・AI 活用領域の広がり／1-3-2 様々な活用目的 【第7回】 [教科書1] Section2「Word」STEP1 Wordの基礎を学びましょう Lesson3 文章を入力しましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson3 不正アクセスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-4-1 データ解析の種類／1-4-2 構造化データの可視化 【第8回】 [教科書1] Section2「Word」STEP2 文書を作成しましょう Lesson1 チラシを作成しましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson3 不正アクセスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-4-3 非構造化データの扱い方 【第9回】 [教科書1] Section2「Word」STEP2 文書を作成しましょう Lesson1 チラシを作成しましょう：練習7 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson1 情報社会の問題点を学びましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-4-4 AI（人工知能）／1-5-1 データサイエンスサイクル 【第10回】 [教科書1] Section2「Word」STEP2 文書を作成しましょう Lesson2 レポートに必要な機能を学びましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson2 著作権について学びましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-5-2 データ・AI活用例紹介 【第11回】 [教科書1] Section2「Word」STEP2 文書を作成しましょう Lesson2 レポートに必要な機能を学びましょう：練習8 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson2 著作権について学びましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」1-6-1 データ・AI を活用した最新のビジネスモデル／1-6-2 AI を活用した最新の技術や関連用語 【第12回】 [教科書1] Section4「PowerPoint」STEP1 PowerPointの基礎を学びましょう／STEP2 スライドを作成しましょう Lesson1 スライドを作成しましょう(1)～(9) [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson3 個人情報の保護について学びましょう [教科書2] 第3章「心得 データ・AI活用における留意事項」3-1-1 倫理的・法的・社会的課題／3-1-2 自身に関するデータのコントロール 【第13回】 [教科書1] Section4「PowerPoint」STEP2 スライドを作成しましょう Lesson1 スライドを作成しましょう(10)～(12)／練習22 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson4 ルールとマナーを学びましょう [教科書2] 第3章「心得 データ・AI活用における留意事項」3-1-3 データ倫理／3-1-4 人間中心のAI社会原則 【第14回】 [教科書1] Section4「PowerPoint」STEP2 スライドを作成しましょう Lesson2 効果を付けましょう／練習23 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson4 ルールとマナーを学びましょう [教科書2] 第3章「心得 データ・AI活用における留意事項」3-1-5 データ・AI 活用における負の事例／3-2-1 データを守るための原則 【第15回】 [教科書1] Section4「PowerPoint」STEP3 発表しましょう／練習24 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson5 ネットコミュニケーションを学びましょう

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI利活用における留意事項」3-2-2 データを守るための方法／3-2-3 セキュリティ事故の事例

◆後期

【第16回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-1 Excelの基本的な操作方法① 2-1-1 ～ 2-1-3
[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう（ドリルを用いて復習）

【第17回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-1 Excelの基本的な操作方法② 2-1-4 ～ 2-1-5
[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう（ドリルを用いて復習）

【第18回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-2 時系列データの可視化
[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう（理解度確認テスト）

【第19回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-3 平均の算出とその可視化
[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう（ドリルを用いて復習）

【第20回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-4 標準偏差の算出とその可視化
[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう（ドリルを用いて復習）

【第21回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-5 大量のデータを扱う方法① 2-5-1 ～ 2-5-4
[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう（理解度確認テスト）

【第22回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-5 大量のデータを扱う方法② 2-5-5
[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-1 ～ 1-3（ドリルを用いて復習）

【第23回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-6 基本統計量の算出と箱ひげ図
[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-1 ～ 1-3（ドリルを用いて復習）

【第24回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-7 度数分布表とヒストグラムの作成
[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-1 ～ 1-3（理解度確認テスト）

【第25回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-8 散布図の作成と相関係数の算出
[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-4 ～ 1-6（ドリルを用いて復習）

【第26回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-9 定性データの扱い方とクロス集計
[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-4 ～ 1-6（ドリルを用いて復習）

【第27回】

[教科書1] Section3「Excel」Excelの印刷、計算、数学関数、if関数、円・複合グラフ
[データサイエンス実習] 課題の設定・実データの収集
[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-4 ～ 1-6（理解度確認テスト）

【第28回】

[データサイエンス実習] データの加工と解析・推論
[教科書2] 第3章「心得 データ・AI利活用における留意事項」（ドリルを用いて復習）
・事前学習：[教科書2]を参考に第27回で収集したデータの特徴を考えること。
・事後学習：時間内に終わらなかった課題を次回の授業までにmanabaに提出すること。

【第29回】

[データサイエンス実習] 実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（Word）
[教科書2] 第3章「心得 データ・AI利活用における留意事項」（理解度確認テスト）
・事前学習：[教科書1] Section2 Step2 Lesson2を参考にレポートの書き方を復習しておくこと。
・事後学習：時間内に終わらなかった課題を次回の授業までにmanabaに提出すること。

【第30回】

[データサイエンス実習] 実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（PowerPoint）
[まとめ] 授業全体の振り返りを行うとともに、授業内容についてのアンケートを実施する。
・事前学習：[教科書1] Section4を参考にPowerPointの作成方法を復習しておくこと。
・事後学習：時間内に終わらなかった課題をmanabaに提出すること。

注1. この授業は前期から後期にかけて行う通年の授業である。

注2. 第1回から必ずノートPCを持参すること。コンピュータのハードウェア環境およびソフトウェア環境について確認する。第1回から使用テキストも可能な限り持参すること。

注3. OSはWindows 11を前提とする。古いバージョンのOSのPCを持つ人は、演習開始時に担当教員に伝えておくこと。また、Microsoft365（もしくはOffice2019またはOffice2021）と異なるバージョンの場合は、初回授業時に対応する。

注4. 上記の通り、第18・21・24・27・29回の授業において、授業内に理解度確認テストを実施する予定である。教科書を熟読し、manabaのドリルを行って対策をしておくこと。

注5. クラスの実状に応じ、進度その他に若干の変更が生じる場合がある。担当教員の説明をよく聞いておくこと。

注6. 課題や試験のフィードバック方法：試験、小テスト、課題、レポート等について、授業時間またはmanaba等を用いて講評・解説を行う。

実務経験のある
教員による授業
科目

授業回数	情報リテラシー演習						DS概論				座学系の内容の復習と授業内試験			
	教科書 1：Office基礎と情報モラル（noa出版）						教科書 2：AI・データサイエンスリテラシー入門（技術評論社）							
	Section	内容：Office		ページ	Section	内容：セキュリティと情報モラル		ページ	Section	内容：データサイエンス		ページ		
1	ガイダンス、PC設定													
2	manaba、学内メール等			Scetion 5 セキュリティと 情報モラル	Lesson1 コンピュータウイルス 確認ドリル1		250-255	第1章 導入 社会における データ・AI活用	1-1-1 IoTとビッグデータ		確認ドリル	8-10		
3	Section 1 Windows 11	STEP1 Lesson1 パソコンの起動			2-13	Lesson1 コンピュータウイルス 確認ドリル2			1-1-2 第4次産業革命と Society 5.0	10				
4		STEP1 Lesson2 エクスプローラー NESSの使用法、タイピング練習			14-18	Lesson1 コンピュータウイルス 確認ドリル3			1-1-3 Society 5.0が目指す社会	11-12				
5		STEP2 ファイルとフォルダー インターネット利活用、教科書データの入手			19-28	Lesson2 スパイウェア 確認ドリル4			1-1-4 データ駆動型社会	13				
6		STEP1 Lesson1 Wordの起動		30-35	Lesson3 不正アクセス 確認ドリル5		1-2-1 様々な種類のデータ		14-15					
7	Section 2 Word	STEP1 Lesson2 タッチタイピング		36-51	Lesson3 不正アクセス 確認ドリル6		1-2-2 1次データ・2次データ・メタデータ		15-16					
8		STEP1 Lesson3 文章の入力		52-59	Lesson3 不正アクセス 確認ドリル7		1-2-3 構造化データと非構造化データ		16-17					
9		STEP2 Lesson1 チラシの作成		60-79			1-3-1 データ・AI 活用領域の広がり		18-19					
10		STEP2 Lesson1 練習7		80			1-3-2 様々な活用目的		19-20					
11		STEP2 Lesson2 レポートの作成		81-97			1-4-1 データ解析の種類		21-22					
12	Section 4 PowerPoint	STEP2 Lesson2 練習8		98			1-4-2 構造化データの可視化	22-23						
13							1-4-3 非構造化データの扱い方	23-25						
14							1-4-4 AI（人工知能）	26						
15							1-5-1 データサイエンスサイクル	27						
16				Scetion 5 セキュリティと 情報モラル	Lesson1 情報社会の問題点 確認ドリル 1		268	第3章 心得 データ・AI活用に おける留意事項	1-5-2 データ・AI活用例紹介			28-33		
17					Lesson2 著作権 確認ドリル 2				269-273	1-6-1 データ・AI を活用した最新のビジネスモデル		34-35		
18					Lesson2 著作権 確認ドリル 3					1-6-2 AI を活用した最新の技術や関連用語		35-36		
19					Lesson3 個人情報の保護 確認ドリル 4		274-275		3-1-1 倫理的・法的・社会的課題			166		
20				Lesson4 ルールとマナー 確認ドリル 5		276-282			3-1-2 自身に関するデータのコントロール			167-168		
21				Lesson3 個人情報保護 確認ドリル 4					3-1-3 データ倫理			168		
22				Lesson4 ルールとマナー 確認ドリル 5			3-1-4 人間中心のAI社会原則		168-169					
23				STEP 2 情報モラル	Lesson4 ルールとマナー 確認ドリル 6		276-282		3-1-5 データ・AI活用における留意事項			169		
24					Lesson5 ネットコミュニケーション 確認ドリル 7				3-2-1 データを守るための原則			170		
25									3-2-2 データを守るための方法			170-172		
26								3-2-3 セキュリティ事故の事例とサイバーセキュリティ		172				
27	Section 3 Excel	Excel印刷、計算、数学関数、if関数、円・複合グラフ						第2章 基礎 データリテラシー	2-1 Excelの基本的な操作方法①			38-48	(情報) Section5 STEP1 セキュリティ【復習】	
28									2-1 Excelの基本的な操作方法②			49-54	(情報) Section5 STEP1 セキュリティ【復習】	
29									2-2 時系列データの可視化			55-71	(情報) Section5 STEP1 セキュリティ【授業内試験】	
30									2-3 平均の算出とその可視化			72-83	(情報) Section5 STEP2 情報モラル【復習】	
								第2章 基礎 データリテラシー	2-4 標準偏差の算出とその可視化			84-97	(情報) Section5 STEP2 情報モラル【復習】	
									2-5 大量のデータを扱う方法①			98-110	(情報) Section5 STEP2 情報モラル【授業内試験】	
									2-5 大量のデータを扱う方法②			110-113	(DS・AI) 第1章 1-1～1-3【復習】	
									2-6 基本統計量の算出と箱ひげ図			114-128	(DS・AI) 第1章 1-1～1-3【復習】	
									2-7 度数分布表とヒストグラムの作成			129-141	(DS・AI) 第1章 1-1～1-3【授業内試験】	
									2-8 散布図の作成と相関係数の算出			142-154	(DS・AI) 第1章 1-4～1-6【復習】	
									2-9 定性データの扱い方とクロス集計			155-164	(DS・AI) 第1章 1-4～1-6【復習】	
								オンライン教材	課題の設定・実データの収集				(DS・AI) 第1章 1-4～1-6【授業内試験】	
									実データの加工と解析・推論				(DS・AI) 第3章【復習】	
									実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（Word）				(DS・AI) 第3章【授業内試験】	
									実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（PowerPoint）					

年度	2026年度						
授業科目名	コンピュータ演習 【(観光)1】	授業形態	演習	授業形式		授業コード	3120001801
ナンバリング	人文社会学部 観光経営学科(D6112)						
担当教員	黒澤 俊平						
配当学年	1年：人文社会学部 観光経営学科(22,21)				学期	2026年度前期、 2026年度後期	
単位数	2単位：人文社会学部 観光経営学科(22,21)						
必修カリキュラム	人文社会学部 観光経営学科(22,21)						
カリキュラム	人文社会学部 観光経営学科(22,21)						
資格認定・一部試験免除との関連							

授業のねらい及び到達目標	【授業のねらい】 現代の情報化社会に生きる我々にとってコンピュータや通信機器は必須の道具となっており、これらを使いこなす能力は我々現代人に求められる基本的なスキルといえる。これらは単に個人が文書作成や数値計算をするための道具ではなく、ネットワークを介して人間同士がコミュニケーションを行うための重要な道具ともなっている。また、様々な分野において、人々の行動データ等の膨大なデータや人工知能（Artificial Intelligence: AI）を活用したりすることが増えてきた。このような状況をふまえ、本授業では文書作成ソフトウェアWord（以下「Word」と記す）、表計算ソフトウェアExcel（以下「Excel」と記す）、プレゼンテーション資料作成ツールPowerPoint（以下「PowerPoint」と記す）の操作方法や基本的な機能を学ぶと同時に、学内LANやインターネットを利用する過程で、そのネットワーク環境を効果的、安全、適正に使用するための知識や技術を習得する。また、データサイエンスやAIに関するリテラシーレベルの知識を習得し、これらの適切な使い方を修得する。さらに、将来取り組む課題の解決に必要なとなる情報の探索・収集、分析・整理、アウトプット（レポート、プレゼンテーション等）といった一連の情報利活用能力を身につけることを目的とする。 【到達目標】 【教科書1】のWindows 11・Word・Excel・PowerPointの各Sectionにある「練習」レベルの問題ができること。 【教科書1】のSection5「セキュリティと情報モラル」の内容を理解し、適切に行動できること。 【教科書2】の第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」・第3章「心得データ・AI活用における留意事項」の内容を理解し、データサイエンス・AIの現代社会における役割や留意事項を説明できること。 【教科書2】の第2章「基礎 データリテラシー」の内容を理解し、データを取り扱い、読み、説明することができること。
学修内容・方法	本授業では、情報リテラシーに関する内容と、数理・データサイエンス・AIに関する内容（以下「数理・DS・AI」）について、以下の通り学修する。 【情報リテラシー】オペレーティングシステムの基本操作、タイピングや日本語入力方法のマスターを前提として、Microsoft365（もしくはOffice2019またはOffice2021）に含まれるWord、Excel、PowerPoint等の操作方法や基本的な機能について学ぶ。 【情報リテラシー】教室その他における学内LANの利用方法や、WWW、E-Mail等を用いたインターネット上での情報交換・情報発信・情報収集の方法について学ぶ。 【情報リテラシー】情報セキュリティ（ウィルス対策、パスワード管理、暗号化、SSL等）、知的所有権（特にインターネット上で入手・参照できるWebサイトやオンラインジャーナル等の電子情報を扱う場合の著作権法上の留意点）、個人情報保護、ネチケット、SNS等の安全かつ適切な利用方法等について学び、コンピュータリテラシー・情報リテラシーを総合的に向上させていく。 【数理・DS・AI】情報通信技術による社会の変化（ビッグデータ、第4次産業革命、データ駆動型社会等）、活用されているデータの例（人や車の移動データ、監視カメラ等）、DS・AIの技術（機械学習等）や得手不得手、データ・AI活用の倫理・法的問題（GDPR、ELSI等）といった数理・DS・AIのリテラシーレベルの知識を学ぶ。 【数理・DS・AI】時系列データ、平均・標準偏差・中央値等の基本統計量、相関、定量データ・定性データ等、Excelを用いてデータを扱う基本的な方法を、実データを用いて学ぶ。 【数理・DS・AI】データサイエンス実習では、課題の設定・データ収集・データの分析・プレゼンテーション資料作成という、所謂データサイエンスサイクルの一連の流れを体験する。 ※ データ・AIの利活用を学修する際は、クラスの実情に応じ、適宜グループワークやグループディスカッションを行いながら、演習を進める。 ※ 本授業の数理・DS・AIに関する内容は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）モデルカリキュラムに準拠している。
アクティブ・ラーニングの取り組み方法	発見学習／PBL(課題解決型学習)／体験学習／調査学習／グループディスカッション、ディベート
授業内容のレベル、関連科目	【授業内容のレベル】 高等学校において教科「情報」を履修していることを前提としているが、習熟度については個人差もあると考えられる。よって、入門的・基礎的な内容から始め、次第に高度な内容へと、十分に時間をかけ段階を追って授業を進めていく。 【関連科目】 学科によっては、本演習を履修した諸君を対象とする選択科目（学科によっては必修科目）の「コンピュータ実践演習Ⅰ・Ⅱ」あるいは「コンピュータ演習Ⅱ」がある。
授業外学修（予習・復習）	事前学習・事後学習については、「授業の形式・計画」の項において、個別に記載のない場合は以下のとおりである。 ・事前学習：テキストの学習予定範囲を熟読しておくこと。 ・事後学習：授業の振り返りを行い、時間内に終わらなかった課題を次回の授業までにmanabaに提出すること。
授業外学修に必要な時間	◇人文社会学部 観光経営学科 開講期間内において、約30時間の授業外学修が必要になる。
使用テキスト	【教科書1】情報リテラシーの内容に関するテキスト 『イチからしっかり学ぶ！Office基礎と情報モラルOffice365・Office2021対応』 noa出版、2022年3月 ISBN：978-4-908434-79-2 【教科書2】数理・データサイエンス・AIの内容に関するテキスト 『[改訂新版] AIデータサイエンスリテラシー入門』

	吉岡・森倉・小林・照屋，技術評論社，2024年9月 ISBN：978-4-297-14409-8
参考書、その他 教材	第27回から第30回で行うデータサイエンス実習は、オンライン教材を使用する。 その他、必要に応じてOffice基礎、情報モラル、数理・データサイエンス・AIに関連する教材等を配布・使用する。
成績評価方法・ 基準	以下を総合して評価する。 ・授業内に出された課題の提出状況およびその内容60％（2％×30） ・教室で確認できる習熟度20％（タイピングスキル、受講態度等） ・授業内試験として実施する以下の5回の理解度確認テスト20％（4％×5） [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを高めましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-1～1-3 [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-4～1-6 [教科書2] 第3章「心得 データ・AI利活用における留意事項」
課題や試験のフ ィードバック方 法	
授業の形式・計 画	◆前期 【第1回】 [PCの確認と設定] PCを確認し、必要に応じインストールや設定を行う。各自のPCを学内LANに接続し、ウィルス駆除ソフトやMicrosoft Officeのインストールや設定を行う。 ・事前学習：シラバスと新入生ガイダンス時に配付された「情報リテラシー演習・D S概論／初回授業について」を熟読し、忘れ物がないよう準備しておくこと。初回授業の前日までに本科目の履修登録を完了しておくこと。 ・事後学習：時間内に終わらなかった設定やインストールがあれば、次回の授業までに完了しておくこと。 【第2回】 [授業の内容や進め方のガイダンス] 授業の目的と内容、授業の進め方等をシラバスを用いて説明する。学修支援システムmanabaの利用方法や、学内メールの利用方法、教員との連絡手段についても説明する。 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson1 コンピューターウィルスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-1-1 IoTとビッグデータ ・事前学習：前回の授業で実施したPCやパスワード等の設定内容を忘れないように確認しておくこと。 ・事後学習：時間内に終わらなかった設定や課題を次回の授業までに完了しておくこと。 【第3回】 [教科書1] Section1「Windows 11」STEP1 Windows11 Lesson1 パソコンを起動しましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson1 コンピューターウィルスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-1-2 第4次産業革命とSociety 5.0／1-1-3 Society 5.0が目指す社会 【第4回】 [教科書1] Section1「Windows 11」STEP1 Windwos11 Lesson2 エクスプローラーを操作しましょう [教科書1] NESSを用いたタイピング練習 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson1 コンピューターウィルスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-1-4 データ駆動型社会／1-2-1 様々な種類のデータ 【第5回】 [教科書1] Section1「Windows 11」STEP2 ファイルとフォルダーを操作しましょう／演習全体を通して使用する素材データを各自のPCに展開 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson2 スパイウェアを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-2-2 1次データ・2次データ・メタデータ／1-2-3 構造化データと非構造化データ 【第6回】 [教科書1] Section2「Word」STEP1 Wordの基礎を学びましょう Lesson1 Wordを起動しましょう／Lesson2 タッチタイピングをマスターしましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson3 不正アクセスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-3-1 データ・AI 活用領域の広がり／1-3-2 様々な活用目的 【第7回】 [教科書1] Section2「Word」STEP1 Wordの基礎を学びましょう Lesson3 文章を入力しましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson3 不正アクセスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-4-1 データ解析の種類／1-4-2 構造化データの可視化 【第8回】 [教科書1] Section2「Word」STEP2 文書を作成しましょう Lesson1 チラシを作成しましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson3 不正アクセスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-4-3 非構造化データの扱い方 【第9回】 [教科書1] Section2「Word」STEP2 文書を作成しましょう Lesson1 チラシを作成しましょう：練習7 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson1 情報社会の問題点を学びましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-4-4 AI（人工知能）／1-5-1 データサイエンスサイクル 【第10回】 [教科書1] Section2「Word」STEP2 文書を作成しましょう Lesson2 レポートに必要な機能を学びましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson2 著作権について学びましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-5-2 データ・AI利活用例紹介 【第11回】 [教科書1] Section2「Word」STEP2 文書を作成しましょう Lesson2 レポートに必要な機能を学びましょう：練習8 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson2 著作権について学びましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-6-1 データ・AI を活用した最新のビジネスモデル／1-6-2 AI を活用した最新の技術や関連用語 【第12回】 [教科書1] Section4「PowerPoint」STEP1 PowerPointの基礎を学びましょう／STEP2 スライドを作成しましょう Lesson1 スライドを作成しましょう(1)～(9) [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson3 個人情報の保護について学びましょう

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI利活用における留意事項」3-1-1 倫理的・法的・社会的課題／3-1-2 自身に関するデータのコントロール

【第13回】

[教科書1] Section4「PowerPoint」STEP2 スライドを作成しましょう Lesson1 スライドを作成しましょう(10)～(12)／練習22

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson4 ルールとマナーを学びましょう

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI利活用における留意事項」3-1-3 データ倫理／3-1-4 人間中心のAI社会原則

【第14回】

[教科書1] Section4「PowerPoint」STEP2 スライドを作成しましょう Lesson2 効果を付けましょう／練習23

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson4 ルールとマナーを学びましょう

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI利活用における留意事項」3-1-5 データ・AI 活用における負の事例／3-2-1 データを守るための原則

【第15回】

[教科書1] Section4「PowerPoint」STEP3 発表しましょう／練習24

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson5 ネットコミュニケーションを学びましょう

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI利活用における留意事項」3-2-2 データを守るための方法／3-2-3 セキュリティ事故の事例

◆後期

【第16回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-1 Excelの基本的な操作方法① 2-1-1 ～ 2-1-3

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう（ドリルを用いて復習）

【第17回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-1 Excelの基本的な操作方法② 2-1-4 ～ 2-1-5

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう（ドリルを用いて復習）

【第18回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-2 時系列データの可視化

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう（理解度確認テスト）

【第19回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-3 平均の算出とその可視化

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう（ドリルを用いて復習）

【第20回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-4 標準偏差の算出とその可視化

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう（ドリルを用いて復習）

【第21回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-5 大量のデータを扱う方法① 2-5-1 ～ 2-5-4

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう（理解度確認テスト）

【第22回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-5 大量のデータを扱う方法② 2-5-5

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-1 ～ 1-3（ドリルを用いて復習）

【第23回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-6 基本統計量の算出と箱ひげ図

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-1 ～ 1-3（ドリルを用いて復習）

【第24回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-7 度数分布表とヒストグラムの作成

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-1 ～ 1-3（理解度確認テスト）

【第25回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-8 散布図の作成と相関係数の算出

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-4 ～ 1-6（ドリルを用いて復習）

【第26回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-9 定性データの扱い方とクロス集計

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-4 ～ 1-6（ドリルを用いて復習）

【第27回】

[教科書1] Section3「Excel」Excelの印刷、計算、数学関数、if関数、円・複合グラフ

[データサイエンス実習] 課題の設定・実データの収集

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-4 ～ 1-6（理解度確認テスト）

【第28回】

[データサイエンス実習] データの加工と解析・推論

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI利活用における留意事項」（ドリルを用いて復習）

・事前学習：[教科書2]を参考に第27回で収集したデータの特徴を考えること。

・事後学習：時間内に終わらなかった課題を次回の授業までにmanabaに提出すること。

【第29回】

[データサイエンス実習] 実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（Word）

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI利活用における留意事項」（理解度確認テスト）

・事前学習：[教科書1] Section2 Step2 Lesson2を参考にレポートの書き方を復習しておくこと。

・事後学習：時間内に終わらなかった課題を次回の授業までにmanabaに提出すること。

【第30回】

[データサイエンス実習] 実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（PowerPoint）

[まとめ] 授業全体の振り返りを行うとともに、授業内容についてのアンケートを実施する。

・事前学習：[教科書1] Section4を参考にPowerPointの作成方法を復習しておくこと。

・事後学習：時間内に終わらなかった課題をmanabaに提出すること。

	注1. この授業は前期から後期にかけて行う通年の授業である。 注2. 第1回から必ずノートPCを持参すること。コンピュータのハードウェア環境およびソフトウェア環境について確認する。第1回から使用テキストも可能な限り持参すること。 注3. OSはWindows 11を前提とする。古いバージョンのOSのPCを持つ人は、演習開始時に担当教員に伝えておくこと。また、Microsoft365（もしくはOffice2019またはOffice2021）と異なるバージョンの場合は、初回授業時に対応する。 注4. 上記の通り、第18・21・24・27・29回の授業において、授業内に理解度確認テストを実施する予定である。教科書を熟読し、manabaのドリルを行って対策をしておくこと。 注5. クラスの実状に応じ、進度その他に若干の変更が生じる場合がある。担当教員の説明をよく聞いておくこと。 注6. 課題や試験のフィードバック方法：試験、小テスト、課題、レポート等について、授業時間またはmanaba等を用いて講評・解説を行う。
実務経験のある 教員による授業 科目	

授業回数	情報リテラシー演習						DS概論				座学系の内容の復習と授業内試験		
	教科書 1：Office基礎と情報モラル（noa出版）						教科書 2：AI・データサイエンスリテラシー入門（技術評論社）						
	Section	内容：Office		ページ	Section	内容：セキュリティと情報モラル		ページ	Section	内容：データサイエンス		ページ	
1	ガイダンス、PC設定												
2	manaba、学内メール等			Scetion 5 セキュリティと 情報モラル	Lesson1 コンピュータウイルス 確認ドリル1	250-255	第1章 導入 社会における データ・AI活用	1-1-1 IoTとビッグデータ		確認ドリル	8-10		
3	Section 1 Windows 11	STEP1 Lesson1 パソコンの起動			2-13			Lesson1 コンピュータウイルス 確認ドリル2	1-1-2 第4次産業革命と Society 5.0		10		
4		STEP1 Lesson2 エクスプローラー NESSの使用法、タイピング練習			14-18			Lesson1 コンピュータウイルス 確認ドリル3	1-1-3 Society 5.0が目指す社会		11-12		
5		STEP2 ファイルとフォルダー インターネット利活用、教科書データの入手			19-28	Lesson2 スパイウェア 確認ドリル4		1-1-4 データ駆動型社会	13				
6		STEP1 Lesson1 Wordの起動			30-35	Lesson3 不正アクセス 確認ドリル5		1-2-1 様々な種類のデータ	14-15				
7	Section 2 Word	STEP1 Lesson2 タッチタイピング		36-51	Lesson3 不正アクセス 確認ドリル6	1-2-2 1次データ・2次データ・メタデータ		15-16					
8		STEP1 Lesson3 文章の入力		52-59	Lesson3 不正アクセス 確認ドリル7	1-2-3 構造化データと非構造化データ		16-17					
9		STEP2 Lesson1 チラシの作成		60-79	1-4-1 データ解析の種類	18-19							
10		STEP2 Lesson1 練習7		80	1-4-2 構造化データの可視化	21-22							
11		STEP2 Lesson2 レポートの作成		81-97	1-4-3 非構造化データの扱い方	22-23							
12	Section 4 PowerPoint	STEP2 Lesson2 練習8		98	Scetion 5 セキュリティと 情報モラル	Lesson1 情報社会の問題点 確認ドリル 1	第3章 心得 データ・AI活用に おける留意事項	1-4-4 AI（人工知能）	26				
13		STEP1 PowerPointの基礎		178-185		Lesson2 著作権 確認ドリル 2		28-33					
14		STEP2 Lesson1 スライドの作成(1)～(9)		186-208		Lesson2 著作権 確認ドリル 3		34-35					
15		STEP2 Lesson1 スライドの作成(10)～(12)		209-219		Lesson3 個人情報の保護 確認ドリル 4		35-36					
16	STEP2 Lesson2 効果を付ける、練習23		222-234	Lesson4 ルールとマナー 確認ドリル 5		166							
17	STEP3 発表しましょう、練習24		235-242	Lesson4 ルールとマナー 確認ドリル 6	167-168								
18				Lesson5 ネットコミュニケーション 確認ドリル 7	168								
19					168-169								
20					169								
21					170								
22					170-172								
23					172								
24													
25													
26													
27	Section 3 Excel	Excel印刷、計算、数学関数、if関数、円・複合グラフ			第2章 基礎 データリテラシー	2-1 Excelの基本的な操作方法①		38-48	(情報) Section5 STEP1 セキュリティ【復習】				
28						2-1 Excelの基本的な操作方法②		49-54	(情報) Section5 STEP1 セキュリティ【復習】				
29						2-2 時系列データの可視化		55-71	(情報) Section5 STEP1 セキュリティ【授業内試験】				
30						2-3 平均の算出とその可視化		72-83	(情報) Section5 STEP2 情報モラル【復習】				
						2-4 標準偏差の算出とその可視化		84-97	(情報) Section5 STEP2 情報モラル【復習】				
					2-5 大量のデータを扱う方法①		98-110	(情報) Section5 STEP2 情報モラル【授業内試験】					
					2-5 大量のデータを扱う方法②		110-113	(DS・AI) 第1章 1-1～1-3【復習】					
					2-6 基本統計量の算出と箱ひげ図		114-128	(DS・AI) 第1章 1-1～1-3【復習】					
					2-7 度数分布表とヒストグラムの作成		129-141	(DS・AI) 第1章 1-1～1-3【授業内試験】					
					2-8 散布図の作成と相関係数の算出		142-154	(DS・AI) 第1章 1-4～1-6【復習】					
					2-9 定性データの扱い方とクロス集計		155-164	(DS・AI) 第1章 1-4～1-6【復習】					
					オンライン教材	課題の設定・実データの収集			(DS・AI) 第1章 1-4～1-6【授業内試験】				
						実データの加工と解析・推論			(DS・AI) 第3章【復習】				
						実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（Word）			(DS・AI) 第3章【授業内試験】				
						実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（PowerPoint）							

年度	2026年度						
授業科目名	コンピュータ演習 【(観光)2】	授業形態	演習	授業形式		授業コード	3120001803
ナンバリング	人文社会学部 観光経営学科(D6112)						
担当教員	田中 剛						
配当学年	1年：人文社会学部 観光経営学科(22,21)				学期	2026年度前期、 2026年度後期	
単位数	2単位：人文社会学部 観光経営学科(22,21)						
必修カリキュラム	人文社会学部 観光経営学科(22,21)						
カリキュラム	人文社会学部 観光経営学科(22,21)						
資格認定・一部試験免除との関連							

授業のねらい及び到達目標	【授業のねらい】 現代の情報化社会に生きる我々にとってコンピュータや通信機器は必須の道具となっており、これらを使いこなす能力は我々現代人に求められる基本的なスキルといえる。これらは単に個人が文書作成や数値計算をするための道具ではなく、ネットワークを介して人間同士がコミュニケーションを行うための重要な道具ともなっている。また、様々な分野において、人々の行動データ等の膨大なデータや人工知能（Artificial Intelligence: AI）を活用したりすることが増えてきた。このような状況をふまえ、本授業では文書作成ソフトウェアWord（以下「Word」と記す）、表計算ソフトウェアExcel（以下「Excel」と記す）、プレゼンテーション資料作成ツールPowerPoint（以下「PowerPoint」と記す）の操作方法や基本的な機能を学ぶと同時に、学内LANやインターネットを利用する過程で、そのネットワーク環境を効果的、安全、適正に使用するための知識や技術を習得する。また、データサイエンスやAIに関するリテラシーレベルの知識を習得し、これらの適切な使い方を修得する。さらに、将来取り組む課題の解決に必要なとなる情報の探索・収集、分析・整理、アウトプット（レポート、プレゼンテーション等）といった一連の情報利活用能力を身につけることを目的とする。 【到達目標】 【教科書1】のWindows 11・Word・Excel・PowerPointの各Sectionにある「練習」レベルの問題ができること。 【教科書1】のSection5「セキュリティと情報モラル」の内容を理解し、適切に行動できること。 【教科書2】の第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」・第3章「心得データ・AI活用における留意事項」の内容を理解し、データサイエンス・AIの現代社会における役割や留意事項を説明できること。 【教科書2】の第2章「基礎 データリテラシー」の内容を理解し、データを取り扱い、読み、説明することができること。
学修内容・方法	本授業では、情報リテラシーに関する内容と、数理・データサイエンス・AIに関する内容（以下「数理・DS・AI」）について、以下の通り学修する。 【情報リテラシー】オペレーティングシステムの基本操作、タイピングや日本語入力方法のマスターを前提として、Microsoft365（もしくはOffice2019またはOffice2021）に含まれるWord、Excel、PowerPoint等の操作方法や基本的な機能について学ぶ。 【情報リテラシー】教室その他における学内LANの利用方法や、WWW、E-Mail等を用いたインターネット上での情報交換・情報発信・情報収集の方法について学ぶ。 【情報リテラシー】情報セキュリティ（ウィルス対策、パスワード管理、暗号化、SSL等）、知的所有権（特にインターネット上で入手・参照できるWebサイトやオンラインジャーナル等の電子情報を扱う場合の著作権法上の留意点）、個人情報保護、ネチケット、SNS等の安全かつ適切な利用方法等について学び、コンピュータリテラシー・情報リテラシーを総合的に向上させていく。 【数理・DS・AI】情報通信技術による社会の変化（ビッグデータ、第4次産業革命、データ駆動型社会等）、活用されているデータの例（人や車の移動データ、監視カメラ等）、DS・AIの技術（機械学習等）や得手不得手、データ・AI活用の倫理・法的問題（GDPR、ELSI等）といった数理・DS・AIのリテラシーレベルの知識を学ぶ。 【数理・DS・AI】時系列データ、平均・標準偏差・中央値等の基本統計量、相関、定量データ・定性データ等、Excelを用いてデータを扱う基本的な方法を、実データを用いて学ぶ。 【数理・DS・AI】データサイエンス実習では、課題の設定・データ収集・データの分析・プレゼンテーション資料作成という、所謂データサイエンスサイクルの一連の流れを体験する。 ※ データ・AIの利活用を学修する際は、クラスの実情に応じ、適宜グループワークやグループディスカッションを行いながら、演習を進める。 ※ 本授業の数理・DS・AIに関する内容は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）モデルカリキュラムに準拠している。
アクティブ・ラーニングの取り組み方法	発見学習／PBL(課題解決型学習)／体験学習／調査学習／グループディスカッション、ディベート
授業内容のレベル、関連科目	【授業内容のレベル】 高等学校において教科「情報」を履修していることを前提としているが、習熟度については個人差もあると考えられる。よって、入門的・基礎的な内容から始め、次第に高度な内容へと、十分に時間をかけ段階を追って授業を進めていく。 【関連科目】 学科によっては、本演習を履修した諸君を対象とする選択科目（学科によっては必修科目）の「コンピュータ実践演習Ⅰ・Ⅱ」あるいは「コンピュータ演習Ⅱ」がある。
授業外学修（予習・復習）	事前学習・事後学習については、「授業の形式・計画」の項において、個別に記載のない場合は以下のとおりである。 ・事前学習：テキストの学習予定範囲を熟読しておくこと。 ・事後学習：授業の振り返りを行い、時間内に終わらなかった課題を次回の授業までにmanabaに提出すること。
授業外学修に必要な時間	◇人文社会学部 観光経営学科 開講期間内において、約30時間の授業外学修が必要になる。
使用テキスト	【教科書1】情報リテラシーの内容に関するテキスト 『イチからしっかり学ぶ！Office基礎と情報モラルOffice365・Office2021対応』 noa出版、2022年3月 ISBN：978-4-908434-79-2 【教科書2】数理・データサイエンス・AIの内容に関するテキスト 『[改訂新版] AIデータサイエンスリテラシー入門』

	吉岡・森倉・小林・照屋，技術評論社，2024年9月 ISBN：978-4-297-14409-8
参考書、その他 教材	第27回から第30回で行うデータサイエンス実習は、オンライン教材を使用する。 その他、必要に応じてOffice基礎、情報モラル、数理・データサイエンス・AIに関連する教材等を配布・使用する。
成績評価方法・ 基準	以下を総合して評価する。 ・授業内に出された課題の提出状況およびその内容60％（2％×30） ・教室で確認できる習熟度20％（タイピングスキル、受講態度等） ・授業内試験として実施する以下の5回の理解度確認テスト20％（4％×5） [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを高めましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-1～1-3 [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-4～1-6 [教科書2] 第3章「心得 データ・AI利活用における留意事項」
課題や試験のフ ィードバック方 法	
授業の形式・計 画	◆前期 【第1回】 [PCの確認と設定] PCを確認し、必要に応じインストールや設定を行う。各自のPCを学内LANに接続し、ウィルス駆除ソフトやMicrosoft Officeのインストールや設定を行う。 ・事前学習：シラバスと新入生ガイダンス時に配付された「情報リテラシー演習・D S概論／初回授業について」を熟読し、忘れ物がないよう準備しておくこと。初回授業の前日までに本科目の履修登録を完了しておくこと。 ・事後学習：時間内に終わらなかった設定やインストールがあれば、次回の授業までに完了しておくこと。 【第2回】 [授業の内容や進め方のガイダンス] 授業の目的と内容、授業の進め方等をシラバスを用いて説明する。学修支援システムmanabaの利用方法や、学内メールの利用方法、教員との連絡手段についても説明する。 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson1 コンピューターウィルスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-1-1 IoTとビッグデータ ・事前学習：前回の授業で実施したPCやパスワード等の設定内容を忘れないように確認しておくこと。 ・事後学習：時間内に終わらなかった設定や課題を次回の授業までに完了しておくこと。 【第3回】 [教科書1] Section1「Windows 11」STEP1 Windows11 Lesson1 パソコンを起動しましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson1 コンピューターウィルスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-1-2 第4次産業革命とSociety 5.0／1-1-3 Society 5.0が目指す社会 【第4回】 [教科書1] Section1「Windows 11」STEP1 Windwos11 Lesson2 エクスプローラーを操作しましょう [教科書1] NESSを用いたタイピング練習 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson1 コンピューターウィルスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-1-4 データ駆動型社会／1-2-1 様々な種類のデータ 【第5回】 [教科書1] Section1「Windows 11」STEP2 ファイルとフォルダーを操作しましょう／演習全体を通して使用する素材データを各自のPCに展開 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson2 スパイウェアを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-2-2 1次データ・2次データ・メタデータ／1-2-3 構造化データと非構造化データ 【第6回】 [教科書1] Section2「Word」STEP1 Wordの基礎を学びましょう Lesson1 Wordを起動しましょう／Lesson2 タッチタイピングをマスターしましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson3 不正アクセスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-3-1 データ・AI 活用領域の広がり／1-3-2 様々な活用目的 【第7回】 [教科書1] Section2「Word」STEP1 Wordの基礎を学びましょう Lesson3 文章を入力しましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson3 不正アクセスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-4-1 データ解析の種類／1-4-2 構造化データの可視化 【第8回】 [教科書1] Section2「Word」STEP2 文書を作成しましょう Lesson1 チラシを作成しましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson3 不正アクセスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-4-3 非構造化データの扱い方 【第9回】 [教科書1] Section2「Word」STEP2 文書を作成しましょう Lesson1 チラシを作成しましょう：練習7 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson1 情報社会の問題点を学びましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-4-4 AI（人工知能）／1-5-1 データサイエンスサイクル 【第10回】 [教科書1] Section2「Word」STEP2 文書を作成しましょう Lesson2 レポートに必要な機能を学びましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson2 著作権について学びましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-5-2 データ・AI利活用例紹介 【第11回】 [教科書1] Section2「Word」STEP2 文書を作成しましょう Lesson2 レポートに必要な機能を学びましょう：練習8 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson2 著作権について学びましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-6-1 データ・AI を活用した最新のビジネスモデル／1-6-2 AI を活用した最新の技術や関連用語 【第12回】 [教科書1] Section4「PowerPoint」STEP1 PowerPointの基礎を学びましょう／STEP2 スライドを作成しましょう Lesson1 スライドを作成しましょう(1)～(9) [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson3 個人情報の保護について学びましょう

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI利活用における留意事項」3-1-1 倫理的・法的・社会的課題／3-1-2 自身に関するデータのコントロール

【第13回】

[教科書1] Section4「PowerPoint」STEP2 スライドを作成しましょう Lesson1 スライドを作成しましょう(10)～(12)／練習22

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson4 ルールとマナーを学びましょう

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI利活用における留意事項」3-1-3 データ倫理／3-1-4 人間中心のAI社会原則

【第14回】

[教科書1] Section4「PowerPoint」STEP2 スライドを作成しましょう Lesson2 効果を付けましょう／練習23

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson4 ルールとマナーを学びましょう

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI利活用における留意事項」3-1-5 データ・AI 活用における負の事例／3-2-1 データを守るための原則

【第15回】

[教科書1] Section4「PowerPoint」STEP3 発表しましょう／練習24

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson5 ネットコミュニケーションを学びましょう

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI利活用における留意事項」3-2-2 データを守るための方法／3-2-3 セキュリティ事故の事例

◆後期

【第16回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-1 Excelの基本的な操作方法① 2-1-1 ～ 2-1-3

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう（ドリルを用いて復習）

【第17回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-1 Excelの基本的な操作方法② 2-1-4 ～ 2-1-5

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう（ドリルを用いて復習）

【第18回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-2 時系列データの可視化

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう（理解度確認テスト）

【第19回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-3 平均の算出とその可視化

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう（ドリルを用いて復習）

【第20回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-4 標準偏差の算出とその可視化

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう（ドリルを用いて復習）

【第21回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-5 大量のデータを扱う方法① 2-5-1 ～ 2-5-4

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう（理解度確認テスト）

【第22回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-5 大量のデータを扱う方法② 2-5-5

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-1 ～ 1-3（ドリルを用いて復習）

【第23回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-6 基本統計量の算出と箱ひげ図

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-1 ～ 1-3（ドリルを用いて復習）

【第24回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-7 度数分布表とヒストグラムの作成

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-1 ～ 1-3（理解度確認テスト）

【第25回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-8 散布図の作成と相関係数の算出

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-4 ～ 1-6（ドリルを用いて復習）

【第26回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-9 定性データの扱い方とクロス集計

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-4 ～ 1-6（ドリルを用いて復習）

【第27回】

[教科書1] Section3「Excel」Excelの印刷、計算、数学関数、if関数、円・複合グラフ

[データサイエンス実習] 課題の設定・実データの収集

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-4 ～ 1-6（理解度確認テスト）

【第28回】

[データサイエンス実習] データの加工と解析・推論

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI利活用における留意事項」（ドリルを用いて復習）

- ・事前学習：[教科書2]を参考に第27回で収集したデータの特徴を考えること。
- ・事後学習：時間内に終わらなかった課題を次回の授業までにmanabaに提出すること。

【第29回】

[データサイエンス実習] 実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（Word）

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI利活用における留意事項」（理解度確認テスト）

- ・事前学習：[教科書1] Section2 Step2 Lesson2を参考にレポートの書き方を復習しておくこと。
- ・事後学習：時間内に終わらなかった課題を次回の授業までにmanabaに提出すること。

【第30回】

[データサイエンス実習] 実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（PowerPoint）

[まとめ] 授業全体の振り返りを行うとともに、授業内容についてのアンケートを実施する。

- ・事前学習：[教科書1] Section4を参考にPowerPointの作成方法を復習しておくこと。
- ・事後学習：時間内に終わらなかった課題をmanabaに提出すること。

	注1. この授業は前期から後期にかけて行う通年の授業である。 注2. 第1回から必ずノートPCを持参すること。コンピュータのハードウェア環境およびソフトウェア環境について確認する。第1回から使用テキストも可能な限り持参すること。 注3. OSはWindows 11を前提とする。古いバージョンのOSのPCを持つ人は、演習開始時に担当教員に伝えておくこと。また、Microsoft365（もしくはOffice2019またはOffice2021）と異なるバージョンの場合は、初回授業時に対応する。 注4. 上記の通り、第18・21・24・27・29回の授業において、授業内に理解度確認テストを実施する予定である。教科書を熟読し、manabaのドリルを行って対策をしておくこと。 注5. クラスの実状に応じ、進度その他に若干の変更が生じる場合がある。担当教員の説明をよく聞いておくこと。 注6. 課題や試験のフィードバック方法：試験、小テスト、課題、レポート等について、授業時間またはmanaba等を用いて講評・解説を行う。
実務経験のある 教員による授業 科目	

授業回数	情報リテラシー演習						DS概論				座学系の内容の復習と授業内試験	
	教科書 1：Office基礎と情報モラル（noa出版）						教科書 2：AI・データサイエンスリテラシー入門（技術評論社）					
	Section	内容：Office	ページ	Section	内容：セキュリティと情報モラル	ページ	Section	内容：データサイエンス	ページ			
1	ガイダンス、PC設定											
2	manaba、学内メール等			Scetion 5 セキュリティと 情報モラル	Lesson1 コンピュータウイルス 確認ドリル1	250-255	第1章 導入 社会における データ・AI活用	1-1-1 IoTとビッグデータ	確認ドリル	8-10		
3	Section 1 Windows 11	STEP1 Lesson1 パソコンの起動	2-13		Lesson1 コンピュータウイルス 確認ドリル2			1-1-2 第4次産業革命と Society 5.0		10		
4		STEP1 Lesson2 エクスプローラー NESSの使用法、タイピング練習	14-18		Lesson1 コンピュータウイルス 確認ドリル3			1-1-3 Society 5.0が目指す社会		11-12		
5		STEP2 ファイルとフォルダー インターネット利活用、教科書データの入手	19-28		Lesson2 スパイウェア 確認ドリル4	1-1-4 データ駆動型社会		13				
6		Section 2 Word	STEP1 Lesson1 Wordの起動		30-35	STEP 1 セキュリティ		Lesson3 不正アクセス 確認ドリル5		1-2-1 様々な種類のデータ	14-15	
7	STEP1 Lesson2 タッチタイピング		36-51	Lesson3 不正アクセス 確認ドリル6	1-2-2 1次データ・2次データ・メタデータ			15-16				
8	STEP1 Lesson3 文章の入力		52-59	Lesson3 不正アクセス 確認ドリル7	1-2-3 構造化データと非構造化データ			16-17				
9	STEP2 Lesson1 チラシの作成		60-79	Scetion 5 セキュリティと 情報モラル	Lesson1 情報社会の問題点 確認ドリル 1	268		1-4-1 データ解析の種類		18-19		
10	STEP2 Lesson2 レポートの作成		81-97					1-4-2 構造化データの可視化		19-20		
11	STEP2 Lesson2 練習8	98	1-4-3 非構造化データの扱い方					21-22				
12	Section 4 PowerPoint	STEP1 PowerPointの基礎	178-185	STEP 2 情報モラル	Lesson3 個人情報保護 確認ドリル 4	274-275		第3章 心得 データ・AI活用に おける留意事項		1-4-4 AI（人工知能）	22-23	
13		STEP2 Lesson1 スライドの作成(1)～(9)	186-208							1-5-1 データサイエンスサイクル	23-25	
14		STEP2 Lesson1 スライドの作成(10)～(12)	209-219							1-5-2 データ・AI活用例紹介	26	
15		STEP2 Lesson2 効果を付ける、練習23	222-234							1-6-1 データ・AI を活用した最新のビジネスモデル	27	
16		STEP3 発表しましょう、練習24	235-242	STEP 2 情報モラル	Lesson4 ルールとマナー 確認ドリル 5	276-282	1-6-2 AI を活用した最新の技術や関連用語		28-33			
17		オンライン教材	Excel印刷、計算、数学関数、if関数、円・複合グラフ						3-1-1 倫理的・法的・社会的課題	34-35		
18									3-1-2 自身に関するデータのコントロール	35-36		
19									3-1-3 データ倫理	166		
20									3-1-4 人間中心のAI社会原則	167-168		
21				3-1-5 データ・AI活用における留意事項	168							
22		第2章 基礎 データリテラシー			3-2-1 データを守るための原則	168-169						
23					3-2-2 データを守るための方法	169						
24					3-2-3 セキュリティ事故の事例とサイバーセキュリティ	170						
25					2-1 Excelの基本的な操作方法①	170-172						
26					2-1 Excelの基本的な操作方法②	172						
27	2-2 時系列データの可視化				38-48							
28	2-3 平均の算出とその可視化				(情報) Section5 STEP1 セキュリティ【復習】							
29	2-4 標準偏差の算出とその可視化				49-54							
30	2-5 大量のデータを扱う方法①				(情報) Section5 STEP1 セキュリティ【授業内試験】							
	2-5 大量のデータを扱う方法②	55-71										
	2-6 基本統計量の算出と箱ひげ図	72-83										
	2-7 度数分布表とヒストグラムの作成	(情報) Section5 STEP2 情報モラル【復習】										
	2-8 散布図の作成と相関係数の算出	84-97										
	2-9 定性データの扱い方とクロス集計	(情報) Section5 STEP2 情報モラル【授業内試験】										
	課題の設定・実データの収集	98-110										
	実データの加工と解析・推論	110-113										
	実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（Word）	114-128										
	実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（PowerPoint）	129-141										
		142-154										
		155-164										
		(DS・AI) 第1章 1-1～1-3【復習】										
		(DS・AI) 第1章 1-1～1-3【復習】										
		(DS・AI) 第1章 1-1～1-3【授業内試験】										
		(DS・AI) 第1章 1-4～1-6【復習】										
		(DS・AI) 第1章 1-4～1-6【復習】										
		(DS・AI) 第1章 1-4～1-6【授業内試験】										
		(DS・AI) 第3章【復習】										
		(DS・AI) 第3章【授業内試験】										

年度	2026年度						
授業科目名	コンピュータ演習 【(観光)3】	授業形態	演習	授業形式		授業コード	3120001805
ナンバリング	人文社会学部 観光経営学科(D6112)						
担当教員	甲斐 聖一						
配当学年	1年：人文社会学部 観光経営学科(22,21)				学期	2026年度前期、 2026年度後期	
単位数	2単位：人文社会学部 観光経営学科(22,21)						
必修カリキュラム	人文社会学部 観光経営学科(22,21)						
カリキュラム	人文社会学部 観光経営学科(22,21)						
資格認定・一部試験免除との関連							

授業のねらい及び到達目標	【授業のねらい】 現代の情報化社会に生きる我々にとってコンピュータや通信機器は必須の道具となっており、これらを使いこなす能力は我々現代人に求められる基本的なスキルといえる。これらは単に個人が文書作成や数値計算をするための道具ではなく、ネットワークを介して人間同士がコミュニケーションを行うための重要な道具ともなっている。また、様々な分野において、人々の行動データ等の膨大なデータや人工知能（Artificial Intelligence: AI）を活用したりすることが増えてきた。このような状況をふまえ、本授業では文書作成ソフトウェアWord（以下「Word」と記す）、表計算ソフトウェアExcel（以下「Excel」と記す）、プレゼンテーション資料作成ツールPowerPoint（以下「PowerPoint」と記す）の操作方法や基本的な機能を学ぶと同時に、学内LANやインターネットを利用する過程で、そのネットワーク環境を効果的、安全、適正に使用するための知識や技術を習得する。また、データサイエンスやAIに関するリテラシーレベルの知識を習得し、これらの適切な使い方を修得する。さらに、将来取り組む課題の解決に必要なとなる情報の探索・収集、分析・整理、アウトプット（レポート、プレゼンテーション等）といった一連の情報利活用能力を身につけることを目的とする。 【到達目標】 【教科書1】のWindows 11・Word・Excel・PowerPointの各Sectionにある「練習」レベルの問題ができること。 【教科書1】のSection5「セキュリティと情報モラル」の内容を理解し、適切に行動できること。 【教科書2】の第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」・第3章「心得データ・AI活用における留意事項」の内容を理解し、データサイエンス・AIの現代社会における役割や留意事項を説明できること。 【教科書2】の第2章「基礎 データリテラシー」の内容を理解し、データを取り扱い、読み、説明することができること。
学修内容・方法	本授業では、情報リテラシーに関する内容と、数理・データサイエンス・AIに関する内容（以下「数理・DS・AI」）について、以下の通り学修する。 【情報リテラシー】オペレーティングシステムの基本操作、タイピングや日本語入力方法のマスターを前提として、Microsoft365（もしくはOffice2019またはOffice2021）に含まれるWord、Excel、PowerPoint等の操作方法や基本的な機能について学ぶ。 【情報リテラシー】教室その他における学内LANの利用方法や、WWW、E-Mail等を用いたインターネット上での情報交換・情報発信・情報収集の方法について学ぶ。 【情報リテラシー】情報セキュリティ（ウィルス対策、パスワード管理、暗号化、SSL等）、知的所有権（特にインターネット上で入手・参照できるWebサイトやオンラインジャーナル等の電子情報を扱う場合の著作権法上の留意点）、個人情報保護、ネチケット、SNS等の安全かつ適切な利用方法等について学び、コンピュータリテラシー・情報リテラシーを総合的に向上させていく。 【数理・DS・AI】情報通信技術による社会の変化（ビッグデータ、第4次産業革命、データ駆動型社会等）、活用されているデータの例（人や車の移動データ、監視カメラ等）、DS・AIの技術（機械学習等）や得手不得手、データ・AI活用の倫理・法的問題（GDPR、ELSI等）といった数理・DS・AIのリテラシーレベルの知識を学ぶ。 【数理・DS・AI】時系列データ、平均・標準偏差・中央値等の基本統計量、相関、定量データ・定性データ等、Excelを用いてデータを扱う基本的な方法を、実データを用いて学ぶ。 【数理・DS・AI】データサイエンス実習では、課題の設定・データ収集・データの分析・プレゼンテーション資料作成という、所謂データサイエンスサイクルの一連の流れを体験する。 ※ データ・AIの利活用を学修する際は、クラスの実情に応じ、適宜グループワークやグループディスカッションを行いながら、演習を進める。 ※ 本授業の数理・DS・AIに関する内容は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）モデルカリキュラムに準拠している。
アクティブ・ラーニングの取り組み方法	発見学習／PBL(課題解決型学習)／体験学習／調査学習／グループディスカッション、ディベート
授業内容のレベル、関連科目	【授業内容のレベル】 高等学校において教科「情報」を履修していることを前提としているが、習熟度については個人差もあると考えられる。よって、入門的・基礎的な内容から始め、次第に高度な内容へと、十分に時間をかけ段階を追って授業を進めていく。 【関連科目】 学科によっては、本演習を履修した諸君を対象とする選択科目（学科によっては必修科目）の「コンピュータ実践演習Ⅰ・Ⅱ」あるいは「コンピュータ演習Ⅱ」がある。
授業外学修（予習・復習）	事前学習・事後学習については、「授業の形式・計画」の項において、個別に記載のない場合は以下のとおりである。 ・事前学習：テキストの学習予定範囲を熟読しておくこと。 ・事後学習：授業の振り返りを行い、時間内に終わらなかった課題を次回の授業までにmanabaに提出すること。
授業外学修に必要な時間	◇人文社会学部 観光経営学科 開講期間内において、約30時間の授業外学修が必要になる。
使用テキスト	【教科書1】情報リテラシーの内容に関するテキスト 『イチからしっかり学ぶ！Office基礎と情報モラルOffice365・Office2021対応』 noa出版、2022年3月 ISBN：978-4-908434-79-2 【教科書2】数理・データサイエンス・AIの内容に関するテキスト 『[改訂新版] AIデータサイエンスリテラシー入門』

	吉岡・森倉・小林・照屋，技術評論社，2024年9月 ISBN：978-4-297-14409-8
参考書、その他 教材	第27回から第30回で行うデータサイエンス実習は、オンライン教材を使用する。 その他、必要に応じてOffice基礎、情報モラル、数理・データサイエンス・AIに関連する教材等を配布・使用する。
成績評価方法・ 基準	以下を総合して評価する。 ・授業内に出された課題の提出状況およびその内容60％（2％×30） ・教室で確認できる習熟度20％（タイピングスキル、受講態度等） ・授業内試験として実施する以下の5回の理解度確認テスト20％（4％×5） [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを高めましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-1～1-3 [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-4～1-6 [教科書2] 第3章「心得 データ・AI利活用における留意事項」
課題や試験のフ ィードバック方 法	
授業の形式・計 画	◆前期 【第1回】 [PCの確認と設定] PCを確認し、必要に応じインストールや設定を行う。各自のPCを学内LANに接続し、ウィルス駆除ソフトやMicrosoft Officeのインストールや設定を行う。 ・事前学習：シラバスと新入生ガイダンス時に配付された「情報リテラシー演習・D S概論／初回授業について」を熟読し、忘れ物がないよう準備しておくこと。初回授業の前日までに本科目の履修登録を完了しておくこと。 ・事後学習：時間内に終わらなかった設定やインストールがあれば、次の授業までに完了しておくこと。 【第2回】 [授業の内容や進め方のガイダンス] 授業の目的と内容、授業の進め方等をシラバスを用いて説明する。学修支援システムmanabaの利用方法や、学内メールの利用方法、教員との連絡手段についても説明する。 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson1 コンピューターウィルスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-1-1 IoTとビッグデータ ・事前学習：前回の授業で実施したPCやパスワード等の設定内容を忘れないように確認しておくこと。 ・事後学習：時間内に終わらなかった設定や課題を次の授業までに完了しておくこと。 【第3回】 [教科書1] Section1「Windows 11」STEP1 Windows11 Lesson1 パソコンを起動しましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson1 コンピューターウィルスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-1-2 第4次産業革命とSociety 5.0／1-1-3 Society 5.0が目指す社会 【第4回】 [教科書1] Section1「Windows 11」STEP1 Windwos11 Lesson2 エクスプローラーを操作しましょう [教科書1] NESSを用いたタイピング練習 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson1 コンピューターウィルスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-1-4 データ駆動型社会／1-2-1 様々な種類のデータ 【第5回】 [教科書1] Section1「Windows 11」STEP2 ファイルとフォルダーを操作しましょう／演習全体を通して使用する素材データを各自のPCに展開 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson2 スパイウェアを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-2-2 1次データ・2次データ・メタデータ／1-2-3 構造化データと非構造化データ 【第6回】 [教科書1] Section2「Word」STEP1 Wordの基礎を学びましょう Lesson1 Wordを起動しましょう／Lesson2 タッチタイピングをマスターしましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson3 不正アクセスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-3-1 データ・AI 活用領域の広がり／1-3-2 様々な活用目的 【第7回】 [教科書1] Section2「Word」STEP1 Wordの基礎を学びましょう Lesson3 文章を入力しましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson3 不正アクセスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-4-1 データ解析の種類／1-4-2 構造化データの可視化 【第8回】 [教科書1] Section2「Word」STEP2 文書を作成しましょう Lesson1 チラシを作成しましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson3 不正アクセスを防ぎましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-4-3 非構造化データの扱い方 【第9回】 [教科書1] Section2「Word」STEP2 文書を作成しましょう Lesson1 チラシを作成しましょう：練習7 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson1 情報社会の問題点を学びましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-4-4 AI（人工知能）／1-5-1 データサイエンスサイクル 【第10回】 [教科書1] Section2「Word」STEP2 文書を作成しましょう Lesson2 レポートに必要な機能を学びましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson2 著作権について学びましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-5-2 データ・AI利活用例紹介 【第11回】 [教科書1] Section2「Word」STEP2 文書を作成しましょう Lesson2 レポートに必要な機能を学びましょう：練習8 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson2 著作権について学びましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-6-1 データ・AI を活用した最新のビジネスモデル／1-6-2 AI を活用した最新の技術や関連用語 【第12回】 [教科書1] Section4「PowerPoint」STEP1 PowerPointの基礎を学びましょう／STEP2 スライドを作成しましょう Lesson1 スライドを作成しましょう(1)～(9) [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson3 個人情報の保護について学びましょう

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI利活用における留意事項」3-1-1 倫理的・法的・社会的課題／3-1-2 自身に関するデータのコントロール

【第13回】

[教科書1] Section4「PowerPoint」STEP2 スライドを作成しましょう Lesson1 スライドを作成しましょう(10)～(12)／練習22

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson4 ルールとマナーを学びましょう

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI利活用における留意事項」3-1-3 データ倫理／3-1-4 人間中心のAI社会原則

【第14回】

[教科書1] Section4「PowerPoint」STEP2 スライドを作成しましょう Lesson2 効果を付けましょう／練習23

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson4 ルールとマナーを学びましょう

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI利活用における留意事項」3-1-5 データ・AI 活用における負の事例／3-2-1 データを守るための原則

【第15回】

[教科書1] Section4「PowerPoint」STEP3 発表しましょう／練習24

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson5 ネットコミュニケーションを学びましょう

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI利活用における留意事項」3-2-2 データを守るための方法／3-2-3 セキュリティ事故の事例

◆後期

【第16回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-1 Excelの基本的な操作方法① 2-1-1 ～ 2-1-3

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう（ドリルを用いて復習）

【第17回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-1 Excelの基本的な操作方法② 2-1-4 ～ 2-1-5

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう（ドリルを用いて復習）

【第18回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-2 時系列データの可視化

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう（理解度確認テスト）

【第19回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-3 平均の算出とその可視化

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう（ドリルを用いて復習）

【第20回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-4 標準偏差の算出とその可視化

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう（ドリルを用いて復習）

【第21回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-5 大量のデータを扱う方法① 2-5-1 ～ 2-5-4

[教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう（理解度確認テスト）

【第22回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-5 大量のデータを扱う方法② 2-5-5

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-1 ～ 1-3（ドリルを用いて復習）

【第23回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-6 基本統計量の算出と箱ひげ図

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-1 ～ 1-3（ドリルを用いて復習）

【第24回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-7 度数分布表とヒストグラムの作成

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-1 ～ 1-3（理解度確認テスト）

【第25回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-8 散布図の作成と相関係数の算出

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-4 ～ 1-6（ドリルを用いて復習）

【第26回】

[教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-9 定性データの扱い方とクロス集計

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-4 ～ 1-6（ドリルを用いて復習）

【第27回】

[教科書1] Section3「Excel」Excelの印刷、計算、数学関数、if関数、円・複合グラフ

[データサイエンス実習] 課題の設定・実データの収集

[教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-4 ～ 1-6（理解度確認テスト）

【第28回】

[データサイエンス実習] データの加工と解析・推論

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI利活用における留意事項」（ドリルを用いて復習）

- ・事前学習：[教科書2]を参考に第27回で収集したデータの特徴を考えること。
- ・事後学習：時間内に終わらなかった課題を次回の授業までにmanabaに提出すること。

【第29回】

[データサイエンス実習] 実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（Word）

[教科書2] 第3章「心得 データ・AI利活用における留意事項」（理解度確認テスト）

- ・事前学習：[教科書1] Section2 Step2 Lesson2を参考にレポートの書き方を復習しておくこと。
- ・事後学習：時間内に終わらなかった課題を次回の授業までにmanabaに提出すること。

【第30回】

[データサイエンス実習] 実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（PowerPoint）

[まとめ] 授業全体の振り返りを行うとともに、授業内容についてのアンケートを実施する。

- ・事前学習：[教科書1] Section4を参考にPowerPointの作成方法を復習しておくこと。
- ・事後学習：時間内に終わらなかった課題をmanabaに提出すること。

	注1. この授業は前期から後期にかけて行う通年の授業である。 注2. 第1回から必ずノートPCを持参すること。コンピュータのハードウェア環境およびソフトウェア環境について確認する。第1回から使用テキストも可能な限り持参すること。 注3. OSはWindows 11を前提とする。古いバージョンのOSのPCを持つ人は、演習開始時に担当教員に伝えておくこと。また、Microsoft365（もしくはOffice2019またはOffice2021）と異なるバージョンの場合は、初回授業時に対応する。 注4. 上記の通り、第18・21・24・27・29回の授業において、授業内に理解度確認テストを実施する予定である。教科書を熟読し、manabaのドリルを行って対策をしておくこと。 注5. クラスの実状に応じ、進度その他に若干の変更が生じる場合がある。担当教員の説明をよく聞いておくこと。 注6. 課題や試験のフィードバック方法：試験、小テスト、課題、レポート等について、授業時間またはmanaba等を用いて講評・解説を行う。
実務経験のある 教員による授業 科目	

授業回数	情報リテラシー演習						DS概論				座学系の内容の復習と授業内試験		
	教科書 1：Office基礎と情報モラル（noa出版）						教科書 2：AI・データサイエンスリテラシー入門（技術評論社）						
	Section	内容：Office	ページ	Section	内容：セキュリティと情報モラル	ページ	Section	内容：データサイエンス	ページ				
1	ガイダンス、PC設定												
2	manaba、学内メール等			Scetion 5 セキュリティと 情報モラル	Lesson1 コンピュータウイルス 確認ドリル1	250-255	第1章 導入 社会における データ・AI活用	1-1-1 IoTとビッグデータ	確認ドリル	8-10			
3	Section 1 Windows 11	STEP1 Lesson1 パソコンの起動	2-13		Lesson1 コンピュータウイルス 確認ドリル2			1-1-2 第4次産業革命と Society 5.0		10			
4		STEP1 Lesson2 エクスプローラー NESSの使用法、タイピング練習	14-18		Lesson1 コンピュータウイルス 確認ドリル3			1-1-3 Society 5.0が目指す社会		11-12			
5		STEP2 ファイルとフォルダー インターネット利活用、教科書データの入手	19-28		Lesson2 スパイウェア 確認ドリル4	1-1-4 データ駆動型社会		13					
6		Section 2 Word	STEP1 Lesson1 Wordの起動		30-35	STEP 1 セキュリティ		Lesson3 不正アクセス 確認ドリル5		1-2-1 様々な種類のデータ		14-15	
7	STEP1 Lesson2 タッチタイピング		36-51	Lesson3 不正アクセス 確認ドリル6	1-2-2 1次データ・2次データ・メタデータ			15-16					
8	STEP1 Lesson3 文章の入力		52-59	Lesson3 不正アクセス 確認ドリル7	1-2-3 構造化データと非構造化データ			16-17					
9	STEP2 Lesson1 チラシの作成		60-79	Lesson1 情報社会の問題点 確認ドリル1	1-3-1 データ・AI 活用領域の広がり			18-19					
10	STEP2 Lesson1 練習7		80	Scetion 5 セキュリティと 情報モラル	Lesson2 著作権 確認ドリル2	1-3-2 様々な活用目的		19-20					
11	STEP2 Lesson2 レポートの作成	81-97	Lesson2 著作権 確認ドリル3		1-4-1 データ解析の種類	21-22							
12	Section 4 PowerPoint	STEP1 PowerPointの基礎	178-185		STEP 2 情報モラル	Lesson3 個人情報の保護 確認ドリル4	1-4-2 構造化データの可視化	22-23					
13		STEP2 Lesson1 スライドの作成(1)～(9)	186-208			第3章 心得 データ・AI活用に おける留意事項	Lesson4 ルールとマナー 確認ドリル5	1-4-3 非構造化データの扱い方		23-25			
14		STEP2 Lesson2 スライドの作成(10)～(12)	209-219	Lesson4 ルールとマナー 確認ドリル6			1-4-4 AI（人工知能）	26					
15		STEP2 Lesson2 効果を付ける、練習23	222-234	Lesson5 ネットコミュニケーション 確認ドリル7			1-5-1 データサイエンスサイクル	27					
16								1-5-2 データ・AI活用例紹介		28-33			
17								Lesson1 情報社会の問題点 確認ドリル1		274-275		1-6-1 データ・AI を活用した最新のビジネスモデル	34-35
18								Lesson2 著作権 確認ドリル2		269-273		1-6-2 AI を活用した最新の技術や関連用語	35-36
19								Lesson3 個人情報保護 確認ドリル3		第3章 心得 データ・AI活用に おける留意事項		3-1-1 倫理的・法的・社会的課題	166
20								Lesson4 ルールとマナー 確認ドリル4				3-1-2 自身に関するデータのコントロール	167-168
21								Lesson5 ネットコミュニケーション 確認ドリル5				3-1-3 データ倫理	168
22								Lesson1 情報社会の問題点 確認ドリル1				3-1-4 人間中心のAI社会原則	168-169
23								Lesson2 著作権 確認ドリル2				3-1-5 データ・AI活用における留意事項	169
24								Lesson3 個人情報保護 確認ドリル3				3-2-1 データを守るための原則	170
25								Lesson4 ルールとマナー 確認ドリル4				3-2-2 データを守るための方法	170-172
26	Lesson5 ネットコミュニケーション 確認ドリル5	3-2-3 セキュリティ事故の事例とサイバーセキュリティ	172										
27	Section 3 Excel	Excel印刷、計算、数学関数、if関数、円・複合グラフ				オンライン教材	課題の設定・実データの収集		(DS・AI) 第1章 1-4～1-6【授業内試験】				
28					実データの加工と解析・推論		(DS・AI) 第3章【復習】						
29					実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（Word）		(DS・AI) 第3章【授業内試験】						
30					実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（PowerPoint）								

年度	2026年度						
授業科目名	コンピュータ演習 【(再履修)】	授業形態	演習	授業形式		授業コード	3120001829
ナンバリング	人文社会学部人間文化学科 福祉コース(D1112) 人文社会学部人間文化学科 メディア文化コー(D1112) 人文社会学部人間文化学科 グローバルコミュ(D1112) 人文社会学部経営学科 経営コース(D2112) 人文社会学部経営学科 トレーナー・スポ(D2112) 人文社会学部経営学科 経営情報コース(D2112) 人文社会学部教育学科 小学校・特別支援(D4112) 人文社会学部教育学科 保育・幼稚園コー(D4112) 人文社会学部 観光経営学科(D6112)						
担当教員	内藤 旭恵						
配当学年	1年：人文社会学部 観光経営学科(22,21) 人文社会学部教育学科 保育・幼稚園コー(22,21) 人文社会学部教育学科 小学校・特別支援(22,21) 人文社会学部経営学科 経営情報コース(22,21) 人文社会学部経営学科 トレーナー・スポ(22,21) 人文社会学部経営学科 経営コース(22,21) 人文社会学部人間文化学科 グローバルコミュ(22,21) 人文社会学部人間文化学科 メディア文化コー(22,21) 人文社会学部人間文化学科 福祉コース(22,21)					学期	2026年度前期、 2026年度後期
単位数	2単位：人文社会学部 観光経営学科(22,21) 人文社会学部教育学科 保育・幼稚園コー(22,21) 人文社会学部教育学科 小学校・特別支援(22,21) 人文社会学部経営学科 経営情報コース(22,21) 人文社会学部経営学科 トレーナー・スポ(22,21) 人文社会学部経営学科 経営コース(22,21) 人文社会学部人間文化学科 グローバルコミュ(22,21) 人文社会学部人間文化学科 メディア文化コー(22,21) 人文社会学部人間文化学科 福祉コース(22,21)						
必修カリキュラム	人文社会学部 観光経営学科(22,21) 人文社会学部教育学科 保育・幼稚園コー(22,21) 人文社会学部教育学科 小学校・特別支援(22,21) 人文社会学部経営学科 経営情報コース(22,21) 人文社会学部経営学科 トレーナー・スポ(22,21) 人文社会学部経営学科 経営コース(22,21) 人文社会学部人間文化学科 グローバルコミュ(22,21) 人文社会学部人間文化学科 メディア文化コー(22,21) 人文社会学部人間文化学科 福祉コース(22,21)						
カリキュラム	人文社会学部人間文化学科 福祉コース(22,21) 人文社会学部人間文化学科 メディア文化コー(22,21) 人文社会学部人間文化学科 グローバルコミュ(22,21) 人文社会学部経営学科 経営コース(22,21) 人文社会学部経営学科 トレーナー・スポ(22,21) 人文社会学部経営学科 経営情報コース(22,21) 人文社会学部教育学科 小学校・特別支援(22,21) 人文社会学部教育学科 保育・幼稚園コー(22,21) 人文社会学部 観光経営学科(22,21)						
資格認定・一部試験免除との関連	◇保育士 人文社会学部教育学科 保育・幼稚園コー(22,21) ◇幼稚園教諭一種免許状 人文社会学部教育学科 保育・幼稚園コー(22,21) ◇小学校教諭一種免許状 人文社会学部教育学科 保育・幼稚園コー(22,21) 人文社会学部教育学科 小学校・特別支援(22,21)						

授業のねらい及び到達目標	【授業のねらい】 現代の情報化社会に生きる我々にとってコンピュータや通信機器は必須の道具となっており、これらを使いこなす能力は我々現代人に求められる基本的なスキルといえる。これらは単に個人が文書作成や数値計算をするための道具ではなく、ネットワークを介して人間同士がコミュニケーションを行うための重要な道具ともなっている。また、様々な分野において、人々の行動データ等の膨大なデータや人工知能（Artificial Intelligence: AI）を活用したりすることが増えてきた。このような状況をふまえ、本授業では文書作成ソフトウェアWord（以下「Word」と記す）、表計算ソフトウェアExcel（以下「Excel」と記す）、プレゼンテーション資料作成ツールPowerPoint（以下「PowerPoint」と記す）の操作方法や基本的な機能を学ぶと同時に、学内LANやインターネットを利用する過程で、そのネットワーク環境を効果的、安全、適正に使用するための知識や技術を習得する。また、データサイエンスやAIに関するリテラシーレベルの知識を習得し、これらの適切な使い方を修得する。さらに、将来取り組む課題の解決に必要となる情報の探索・収集、分析・整理、アウトプット（レポート、プレゼンテーション等）といった一連の情報利活用能力を身につけることを目的とする。 【到達目標】 [教科書1] のWindows 11・Word・Excel・PowerPointの各Sectionにある「練習」レベルの問題ができること。 [教科書1] のSection5「セキュリティと情報モラル」の内容を理解し、適切に行動できること。 [教科書2] の第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」・第3章「心得データ・AI利活用における留意事項」の内容を理解し、データサイエンス・AIの現代社会における役割や留意事項を説明できること。 [教科書2] の第2章「基礎 データリテラシー」の内容を理解し、データを取り扱い、読み、説明することができること。
学修内容・方法	本授業では、情報リテラシーに関する内容と、数理・データサイエンス・AIに関する内容（以下「数理・DS・AI」）について、以下の通り学修する。 [情報リテラシー] オペレーティングシステムの基本操作、タイピングや日本語入力方法のマスターを前提として、Microsoft365（もしくはOffice2019またはOffice2021）に含まれるWord、Excel、PowerPoint等の操作方法や基本的な機能について学ぶ。 [情報リテラシー] 教室その他における学内LANの利用方法や、WWW、E-Mail等を用いたインターネット上での情報交換・情報発信・情報収集の方法について学ぶ。

	[情報リテラシー] 情報セキュリティ（ウィルス対策、パスワード管理、暗号化、SSL等）、知的所有権（特にインターネット上で入手・参照できるWebサイトやオンラインジャーナル等の電子情報を扱う場合の著作権法上の留意点）、個人情報の保護、ネチケット、SNS等の安全かつ適切な利用方法等について学び、コンピュータリテラシー・情報リテラシーを総合的に向上させていく。 [数理・DS・AI] 情報通信技術による社会の変化（ビッグデータ、第4次産業革命、データ駆動型社会等）、活用されているデータの例（人や車の移動データ、監視カメラ等）、DS・AIの技術（機械学習等）や得手不得手、データ・AI活用の倫理・法的問題（GDPR、ELSI等）といった数理・DS・AIのリテラシーレベルの知識を学ぶ。 [数理・DS・AI] 時系列データ、平均・標準偏差・中央値等の基本統計量、相関、定量データ・定性データ等、Excelを用いてデータを扱う基本的な方法を、実データを用いて学ぶ。 [数理・DS・AI] データサイエンス実習では、課題の設定・データ収集・データの分析・プレゼンテーション資料作成という、所謂データサイエンスサイクルの一連の流れを体験する。 ※ データ・AIの利活用を学修する際は、クラスの実情に応じ、適宜グループワークやグループディスカッションを行いながら、演習を進める。 ※ 本授業の数理・DS・AIに関する内容は、数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）モデルカリキュラムに準拠している。
アクティブ・ラーニングの取り組み方法	発見学習／PBL(課題解決型学習)／体験学習／調査学習／グループディスカッション、ディベート
授業内容のレベル、関連科目	【授業内容のレベル】 高等学校において教科「情報」を履修していることを前提としているが、習熟度については個人差もあると考えられる。よって、入門的・基礎的な内容から始め、次第に高度な内容へと、十分に時間をかけ段階を追って授業を進めていく。 【関連科目】 学科によっては、本演習を履修した諸君を対象とする選択科目（学科によっては必修科目）の「コンピュータ実践演習Ⅰ・Ⅱ」あるいは「コンピュータ演習Ⅱ」がある。
授業外学修（予習・復習）	事前学習・事後学習については、「授業の形式・計画」の項において、個別に記載のない場合は以下のとおりである。 ・事前学習：テキストの学習予定範囲を熟読しておくこと。 ・事後学習：授業の振り返りを行い、時間内に終わらなかった課題を次回の授業までにmanabaに提出すること。
授業外学修に必要な時間	◇人文社会学部人間文化学科 福祉コース 開講期間内において、約30時間の授業外学修が必要になる。 ◇人文社会学部人間文化学科 メディア文化コー 開講期間内において、約30時間の授業外学修が必要になる。 ◇人文社会学部人間文化学科 グローバルコミュ 開講期間内において、約30時間の授業外学修が必要になる。 ◇人文社会学部経営学科 経営コース 開講期間内において、約30時間の授業外学修が必要になる。 ◇人文社会学部経営学科 トレーナー・スガ 開講期間内において、約30時間の授業外学修が必要になる。 ◇人文社会学部経営学科 経営情報コース 開講期間内において、約30時間の授業外学修が必要になる。 ◇人文社会学部教育学科 小学校・特別支援 開講期間内において、約30時間の授業外学修が必要になる。 ◇人文社会学部教育学科 保育・幼稚園コー 開講期間内において、約30時間の授業外学修が必要になる。 ◇人文社会学部 観光経営学科 開講期間内において、約30時間の授業外学修が必要になる。
使用テキスト	[教科書1] 情報リテラシーの内容に関するテキスト 『イチからしっかり学ぶ！Office基礎と情報モラルOffice365・Office2021対応』 noa出版，2022年3月 ISBN：978-4-908434-79-2 [教科書2] 数理・データサイエンス・AIの内容に関するテキスト 『[改訂新版] AIデータサイエンスリテラシー入門』 吉岡・森倉・小林・照屋，技術評論社，2024年9月 ISBN：978-4-297-14409-8
参考書、その他教材	第27回から第30回で行うデータサイエンス実習は、オンライン教材を使用する。 その他、必要に応じてOffice基礎、情報モラル、数理・データサイエンス・AIに関連する教材等を配布・使用する。
成績評価方法・基準	以下を総合して評価する。 ・授業内に出された課題の提出状況およびその内容60％（2％×30） ・教室で確認できる習熟度20％（タイピングスキル、受講態度等） ・授業内試験として実施する以下の5回の理解度確認テスト20％（4％×5） [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP1 セキュリティを高めましょう [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを高めましょう [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-1 ～ 1-3 [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-4 ～ 1-6 [教科書2] 第3章「心得 データ・AI利活用における留意事項」
課題や試験のフィードバック方法	
授業の形式・計画	◆前期 【第1回】 [PCの確認と設定] PCを確認し、必要に応じインストールや設定を行う。各自のPCを学内LANに接続し、ウィルス駆除ソフトやMicrosoft Officeのインストールや設定を行う。 ・事前学習：シラバスと新入生ガイダンス時に配付された「情報リテラシー演習・DS概論／初回授業について」を熟読し、忘れ物がないよう準備しておくこと。初回授業の前日までに本科目の履修登録を完了しておくこと。 ・事後学習：時間内に終わらなかった設定やインストールがあれば、次回の授業までに完了しておくこと。 【第2回】 [授業の内容や進め方のガイダンス] 授業の目的と内容、授業の進め方等をシラバスを用いて説明する。学修支援システムmanabaの利用方法や、学内メールの利用方法、教員との連絡手段についても説明する。

【教科書1】 Section5 「セキュリティと情報モラル」 STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson1 コンピューターウィルスを防ぎましょう

【教科書2】 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」 1-1-1 IoTとビッグデータ

- ・事前学習：前回の授業で実施したPCやパスワード等の設定内容を忘れないように確認しておくこと。
- ・事後学習：時間内に終わらなかった設定や課題を次の授業までに完了しておくこと。

【第3回】

【教科書1】 Section1 「Windows 11」 STEP1 Windows11 Lesson1 パソコンを起動しましょう

【教科書1】 Section5 「セキュリティと情報モラル」 STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson1 コンピューターウィルスを防ぎましょう

【教科書2】 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」 1-1-2 第4次産業革命とSociety 5.0／1-1-3 Society 5.0が目指す社会

【第4回】

【教科書1】 Section1 「Windows 11」 STEP1 Windwos11 Lesson2 エクスプローラーを操作しましょう

【教科書1】 NESSを用いたタイピング練習

【教科書1】 Section5 「セキュリティと情報モラル」 STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson1 コンピューターウィルスを防ぎましょう

【教科書2】 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」 1-1-4 データ駆動型社会／1-2-1 様々な種類のデータ

【第5回】

【教科書1】 Section1 「Windows 11」 STEP2 ファイルとフォルダーを操作しましょう／演習全体を通して使用する素材データを各自のPCに展開

【教科書1】 Section5 「セキュリティと情報モラル」 STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson2 スパイウェアを防ぎましょう

【教科書2】 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」 1-2-2 1次データ・2次データ・メタデータ／1-2-3 構造化データと非構造化データ

【第6回】

【教科書1】 Section2 「Word」 STEP1 Wordの基礎を学びましょう Lesson1 Wordを起動しましょう／Lesson2 タッチタイピングをマスターしましょう

【教科書1】 Section5 「セキュリティと情報モラル」 STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson3 不正アクセスを防ぎましょう

【教科書2】 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」 1-3-1 データ・AI 活用領域の広がり／1-3-2 様々な活用目的

【第7回】

【教科書1】 Section2 「Word」 STEP1 Wordの基礎を学びましょう Lesson3 文章を入力しましょう

【教科書1】 Section5 「セキュリティと情報モラル」 STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson3 不正アクセスを防ぎましょう

【教科書2】 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」 1-4-1 データ解析の種類／1-4-2 構造化データの可視化

【第8回】

【教科書1】 Section2 「Word」 STEP2 文書を作成しましょう Lesson1 チラシを作成しましょう

【教科書1】 Section5 「セキュリティと情報モラル」 STEP1 セキュリティを高めましょう Lesson3 不正アクセスを防ぎましょう

【教科書2】 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」 1-4-3 非構造化データの扱い方

【第9回】

【教科書1】 Section2 「Word」 STEP2 文書を作成しましょう Lesson1 チラシを作成しましょう：練習7

【教科書1】 Section5 「セキュリティと情報モラル」 STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson1 情報社会の問題点を学びましょう

【教科書2】 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」 1-4-4 AI（人工知能）／1-5-1 データサイエンスサイクル

【第10回】

【教科書1】 Section2 「Word」 STEP2 文書を作成しましょう Lesson2 レポートに必要な機能を学びましょう

【教科書1】 Section5 「セキュリティと情報モラル」 STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson2 著作権について学びましょう

【教科書2】 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」 1-5-2 データ・AI活用例紹介

【第11回】

【教科書1】 Section2 「Word」 STEP2 文書を作成しましょう Lesson2 レポートに必要な機能を学びましょう：練習8

【教科書1】 Section5 「セキュリティと情報モラル」 STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson2 著作権について学びましょう

【教科書2】 第1章「導入 社会におけるデータ・AI活用」 1-6-1 データ・AI を活用した最新のビジネスモデル／1-6-2 AI を活用した最新の技術や関連用語

【第12回】

【教科書1】 Section4 「PowerPoint」 STEP1 PowerPointの基礎を学びましょう／STEP2 スライドを作成しましょう Lesson1 スライドを作成しましょう(1)～(9)

【教科書1】 Section5 「セキュリティと情報モラル」 STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson3 個人情報の保護について学びましょう

【教科書2】 第3章「心得 データ・AI活用における留意事項」 3-1-1 倫理的・法的・社会的課題／3-1-2 自身に関するデータのコントロール

【第13回】

【教科書1】 Section4 「PowerPoint」 STEP2 スライドを作成しましょう Lesson1 スライドを作成しましょう(10)～(12)／練習22

【教科書1】 Section5 「セキュリティと情報モラル」 STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson4 ルールとマナーを学びましょう

【教科書2】 第3章「心得 データ・AI活用における留意事項」 3-1-3 データ倫理／3-1-4 人間中心のAI社会原則

【第14回】

【教科書1】 Section4 「PowerPoint」 STEP2 スライドを作成しましょう Lesson2 効果を付けましょう／練習23

【教科書1】 Section5 「セキュリティと情報モラル」 STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson4 ルールとマナーを学びましょう

【教科書2】 第3章「心得 データ・AI活用における留意事項」 3-1-5 データ・AI 活用における負の事例／3-2-1 データを守るための原則

【第15回】

【教科書1】 Section4 「PowerPoint」 STEP3 発表しましょう／練習24

【教科書1】 Section5 「セキュリティと情報モラル」 STEP2 情報モラルを学びましょう Lesson5 ネットコミュニケーションを学びましょう

【教科書2】 第3章「心得 データ・AI活用における留意事項」 3-2-2 データを守るための方法／3-2-3 セキュリティ事故の事例

◆後期

【第16回】

【教科書2】 第2章「基礎 データリテラシー」 2-1 Excelの基本的な操作方法① 2-1-1 ～ 2-1-3

【教科書1】 Section5 「セキュリティと情報モラル」 STEP1 セキュリティを高めましょう（ドリルを用いて復習）

【第17回】

【教科書2】 第2章「基礎 データリテラシー」 2-1 Excelの基本的な操作方法② 2-1-4 ～ 2-1-5

【教科書1】 Section5 「セキュリティと情報モラル」 STEP1 セキュリティを高めましょう（ドリルを用いて復習）

【第18回】

【教科書2】 第2章「基礎 データリテラシー」 2-2 時系列データの可視化

【教科書1】 Section5 「セキュリティと情報モラル」 STEP1 セキュリティを高めましょう（理解度確認テスト）

	【第19回】 [教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-3 平均の算出とその可視化 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう（ドリルを用いて復習） 【第20回】 [教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-4 標準偏差の算出とその可視化 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう（ドリルを用いて復習） 【第21回】 [教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-5 大量のデータを扱う方法① 2-5-1 ～ 2-5-4 [教科書1] Section5「セキュリティと情報モラル」STEP2 情報モラルを学びましょう（理解度確認テスト） 【第22回】 [教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-5 大量のデータを扱う方法② 2-5-5 [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-1 ～ 1-3（ドリルを用いて復習） 【第23回】 [教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-6 基本統計量の算出と箱ひげ図 [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-1 ～ 1-3（ドリルを用いて復習） 【第24回】 [教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-7 度数分布表とヒストグラムの作成 [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-1 ～ 1-3（理解度確認テスト） 【第25回】 [教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-8 散布図の作成と相関係数の算出 [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-4 ～ 1-6（ドリルを用いて復習） 【第26回】 [教科書2] 第2章「基礎 データリテラシー」2-9 定性データの扱い方とクロス集計 [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-4 ～ 1-6（ドリルを用いて復習） 【第27回】 [教科書1] Section3「Excel」Excelの印刷、計算、数学関数、if関数、円・複合グラフ [データサイエンス実習] 課題の設定・実データの収集 [教科書2] 第1章「導入 社会におけるデータ・AI利活用」1-4 ～ 1-6（理解度確認テスト） 【第28回】 [データサイエンス実習] データの加工と解析・推論 [教科書2] 第3章「心得 データ・AI利活用における留意事項」（ドリルを用いて復習） ・事前学習：[教科書2]を参考に第27回で収集したデータの特徴を考えること。 ・事後学習：時間内に終わらなかった課題を次の授業までにmanabaに提出すること。 【第29回】 [データサイエンス実習] 実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（Word） [教科書2] 第3章「心得 データ・AI利活用における留意事項」（理解度確認テスト） ・事前学習：[教科書1] Section2 Step2 Lesson2を参考にレポートの書き方を復習しておくこと。 ・事後学習：時間内に終わらなかった課題を次の授業までにmanabaに提出すること。 【第30回】 [データサイエンス実習] 実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（PowerPoint） [まとめ] 授業全体の振り返りを行うとともに、授業内容についてのアンケートを実施する。 ・事前学習：[教科書1] Section4を参考にPowerPointの作成方法を復習しておくこと。 ・事後学習：時間内に終わらなかった課題をmanabaに提出すること。 注1. この授業は前期から後期にかけて行う通年の授業である。 注2. 第1回から必ずノートPCを持参すること。コンピュータのハードウェア環境およびソフトウェア環境について確認する。第1回から使用テキストも可能な限り持参すること。 注3. OSはWindows 11を前提とする。古いバージョンのOSのPCを持つ人は、演習開始時に担当教員に伝えておくこと。また、Microsoft365（もしくはOffice2019またはOffice2021）と異なるバージョンの場合は、初回授業時に対応する。 注4. 上記の通り、第18・21・24・27・29回の授業において、授業内に理解度確認テストを実施する予定である。教科書を熟読し、manabaのドリルを行って対策をしておくこと。 注5. クラスの実状に応じ、進度その他に若干の変更が生じる場合がある。担当教員の説明をよく聞いておくこと。 注6. 課題や試験のフィードバック方法：試験、小テスト、課題、レポート等について、授業時間またはmanaba等を用いて講評・解説を行う。
実務経験のある 教員による授業 科目	

授業回数	情報リテラシー演習						DS概論				座学系の内容の復習と授業内試験						
	教科書 1：Office基礎と情報モラル（noa出版）						教科書 2：AI・データサイエンスリテラシー入門（技術評論社）										
	Section	内容：Office		ページ	Section	内容：セキュリティと情報モラル		ページ	Section	内容：データサイエンス		ページ					
1	ガイダンス、PC設定																
2	manaba、学内メール等			Scetion 5 セキュリティと 情報モラル	Lesson1 コンピュータウイルス 確認ドリル1	250-255	第1章 導入 社会における データ・AI活用	1-1-1 IoTとビッグデータ		確認ドリル	8-10						
3	Section 1 Windows 11	STEP1 Lesson1 パソコンの起動			2-13			Lesson1 コンピュータウイルス 確認ドリル2	1-1-2 第4次産業革命と Society 5.0		10						
4		STEP1 Lesson2 エクスプローラー NESSの使用法、タイピング練習			14-18			Lesson1 コンピュータウイルス 確認ドリル3	1-1-3 Society 5.0が目指す社会		11-12						
5		STEP2 ファイルとフォルダー インターネット利活用、教科書データの入手			19-28	Lesson2 スパイウェア 確認ドリル4		1-1-4 データ駆動型社会	13								
6		Section 2 Word	STEP1 Lesson1 Wordの起動		30-35	STEP 1 セキュリティ		Lesson3 不正アクセス 確認ドリル5	1-2-1 様々な種類のデータ	14-15							
7	STEP1 Lesson2 タッチタイピング		36-51	Lesson3 不正アクセス 確認ドリル6	1-2-2 1次データ・2次データ・メタデータ			15-16									
8	STEP1 Lesson3 文章の入力		52-59	Lesson3 不正アクセス 確認ドリル7	1-2-3 構造化データと非構造化データ			16-17									
9	STEP2 Lesson1 チラシの作成		60-79	Scetion 5 セキュリティと 情報モラル	Lesson1 情報社会の問題点 確認ドリル 1			1-4-1 データ解析の種類	18-19								
10	STEP2 Lesson2 レポートの作成		81-97		STEP 2 情報モラル	Lesson2 著作権 確認ドリル 2		1-4-2 構造化データの可視化	21-22								
11	STEP2 Lesson2 練習8		98			Lesson2 著作権 確認ドリル 3		1-4-3 非構造化データの扱い方	22-23								
12	Section 4 PowerPoint	STEP1 PowerPointの基礎		178-185	STEP 2 情報モラル	Lesson3 個人情報の保護 確認ドリル 4	274-275	第3章 心得 データ・AI活用に おける留意事項	確認ドリル	1-4-4 AI（人工知能）	23-25						
13		STEP2 Lesson1 スライドの作成(10)～(12)		209-219						Lesson4 ルールとマナー 確認ドリル 5	1-4-4 AI（人工知能）		26				
14		STEP2 Lesson2 効果を付ける、練習23		222-234		Lesson4 ルールとマナー 確認ドリル 6	1-5-1 データサイエンスサイクル			27							
15		STEP3 発表しましょう、練習24		235-242			Lesson5 ネットコミュニケーション 確認ドリル 7			1-5-2 データ・AI活用例紹介	28-33						
16											1-6-1 データ・AI を活用した最新のビジネスモデル		34-35				
17											1-6-2 AI を活用した最新の技術や関連用語		35-36				
18											3-1-1 倫理的・法的・社会的課題		166				
19											3-1-2 自身に関するデータのコントロール		167-168				
20											3-1-3 データ倫理		168				
21											3-1-4 人間中心のAI社会原則		168-169				
22								3-1-5 データ・AI活用における留意事項			169						
23								3-2-1 データを守るための原則			170						
24								3-2-2 データを守るための方法			170-172						
25								3-2-3 セキュリティ事故の事例とサイバーセキュリティ			172						
26											2-1 Excelの基本的な操作方法①		38-48	(情報) Section5 STEP1 セキュリティ【復習】			
27											Section 3 Excel	Excel印刷、計算、数学関数、if関数、円・複合グラフ		第2章 基礎 データリテラシー	2-1 Excelの基本的な操作方法②	49-54	(情報) Section5 STEP1 セキュリティ【復習】
28															2-2 時系列データの可視化	55-71	(情報) Section5 STEP1 セキュリティ【授業内試験】
29															2-3 平均の算出とその可視化	72-83	(情報) Section5 STEP2 情報モラル【復習】
30															2-4 標準偏差の算出とその可視化	84-97	(情報) Section5 STEP2 情報モラル【復習】
31															2-5 大量のデータを扱う方法①	98-110	(情報) Section5 STEP2 情報モラル【授業内試験】
32															2-5 大量のデータを扱う方法②	110-113	(DS・AI) 第1章 1-1～1-3【復習】
33															2-6 基本統計量の算出と箱ひげ図	114-128	(DS・AI) 第1章 1-1～1-3【復習】
34															2-7 度数分布表とヒストグラムの作成	129-141	(DS・AI) 第1章 1-1～1-3【授業内試験】
35															2-8 散布図の作成と相関係数の算出	142-154	(DS・AI) 第1章 1-4～1-6【復習】
36	2-9 定性データの扱い方とクロス集計	155-164	(DS・AI) 第1章 1-4～1-6【復習】														
37				オンライン教材	課題の設定・実データの収集			(DS・AI) 第1章 1-4～1-6【授業内試験】									
38					実データの加工と解析・推論			(DS・AI) 第3章【復習】									
39					実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（Word）			(DS・AI) 第3章【授業内試験】									
40					実データの分析結果のプレゼンテーション資料作成（PowerPoint）												